

第四十七回帝國議會
衆議院

帝都復興計畫法案外二件

帝都復興計畫法案
復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案
復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案
震災善後公債法案

委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十二年十二月十七日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 光威君 理事 小田切磐太郎君

理事 小鹽八郎右衛門君 理事 宮崎 三之助君

理事 作間 耕逸君 理事 高木 正年君

小橋 一太君 土屋 興君

中島 守利君 八田 宗吉君

伊坂 秀太郎君 高山 長幸君

多木久米次郎君 有馬 秀雄君

添田 敬一郎君 津野田 是重君

望月 小太郎君 黒金 泰義君

淺賀 長兵衛君 磯貝 浩君

出口 直吉君 關 直彦君

上島 益三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 子爵後藤 新平君

大藏大臣 井上準之助君

出席政府委員左ノ如シ

帝都復興院總裁 子爵後藤 新平君

社會局長官兼帝都復興院理事 池田 宏君

帝都復興院理事 佐野 利器君

內務省土木局長 長岡隆一郎君

大藏省銀行局長 松本 脩君

大藏書記官 太田嘉太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

帝都復興計畫法案(政府提出)

復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案(政府提出)

○高橋委員長 開會致シマス

○關委員 簡卑ニ質問ノ殘リヲ質問致シマス、今

度ノ火災デ以テ御承知ノ如ク非常ナ死傷者ヲ出シ、其原因ハ申迄モナク路ノ狹カッタト云フコト

ト、木橋ガ澤山アツテ、ソレガ皆落チテシマッタコト

ト、公園ガ十分アリマセヌ爲ニ避難所ガ無ク、遂ニ

被服廠ノ如キ慘狀ヲ現出スルニ至ッタノデアリマ

スガ、今度ノ御計畫ヲ拜見スルト、公園ハ僅ニ七箇

所シカ出テ居ナイ、是ハ復興院ノ最初ノ原案、審議

會等ニ出サレタ原案ニハ幾ツアツテ、何所ト何所デ

アリマスカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、ソレカ

ラ將來架設スル所ノ橋梁ノ制限ハ、ドウ云フコト

ニサレル御考デアリマスカ、錯橋ノ如キ鐵橋デサ

ヘ、鉛ノ如クナツテ落チタノデアリマスカラ、餘程

堅牢ナ不燃燒質ノ物デ拵ヘナケレバナラヌノデア

リマスカ、サウ云フ制限ヲ附セラレルノデアルカ、

ソレカラ此橋梁ノ建設ハ、全部東京市ノ經營ニ委

ス積リデアリマスカ、復興院ニ於テモ御計畫ガア

リマスカ、若シ東京市ガヤルトスレバ、復興院ガ幾

ラカノ補助ヲ與ヘル積リデアリマスカ、此二點ヲ

承リタイ

○池田政府委員 御答申上ゲマスガ、道路ノ狹カッ

タコトナリ、橋ガ木橋デアッタト云フコトノ爲ニ

市民ガ避難スルニ非常ニ難儀ヲ致シ、且ツ慘死者ヲ

出シタヤウナ機會ヲ作ッタト云フコト、並ニ避難所

タルベキ公園ガ十分デナカッタト云フ點ニ對シマ

シテハ正ニ御話ノ通りノ事ト當局モ認メテ居リマ

ス、故ニ今回ノ復興計畫ニ於キマシテハ、此點ニ相

當用意ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、道路ノ如キモ、

六間幅以上ノ道路ヲ相當ニ配置ヲ致シテ居リマス

現在ノ道路ト相俟チマシテ、燒失地域ニ於ケル面

積ノ二割六分位ハ、道路ノ用地ニナルコトニ相成

リマス、而シテ區劃整理ニ依リマシテ、三尺トカ云

フヤウナ路次ノ如キモノガ無クナルコトハ昨日モ

申上ゲタ通りデアリマス、此道路ニ付テ、復興院ガ

計畫致シテ居リマスル新設若クハ擴張スベキ路線

ニ當ッテ居ル所ノ橋梁ハ、道路ノ關係ト共ニ復興院

ニ於テ仕事ヲ致スコトニシテ居リマス、而シテ其

橋梁ハ總テ之ヲ不燃燒質ノ物デ、又耐震的ノ構造ニ據

リタイト考ヘテ居リマス、又東京市ノ執行スル分

ハ、即チ此復興院ノ道路計畫中ニハ含マレテ居リ

マセヌ、落チタリ破損シタリシテ居ル橋ヲ復舊ス

ルト云フコトデアリマスカ、之ニ對シマシテハ矢

張復興院ノ方デ致シマスルノト同ジヤウナ構造ヲ

以チマシテ、東京市ニ於テ執行スルコトノ出來ル

ヤウニ備ヘテ居リマス、而シテソレニ對シマシテ

ハ、工費ノ十二分ノ五ヲ補助スル、即チ十二分ノ五

ト申シマスルト、震災前ニ於キマシテ東京市ガベ

「ブメント」ノ補助トシテ國カラ受ケテ居リマシタ率ニ相當スルノデアリマス、サウシテ東京市ノ是等ノ架橋ヲ執行シマスルニ必要ナル補助以外ノ自分ノ負擔ニ屬スベキ經費ハ、之ヲ財政計畫ノ方デ豫算委員會ニ於テ御説明申上ダテ居リマスル如ク財政的ノ援助ヲ與ヘ、市債ヲ保障シ、其率ニ對シテハ七兆迄國ガ補助スルコトニナル譯デアリマス、之ニ依リマシテ只今御心配ニ相成マスルヤウナ事ハ防ギ得ルコトト考ヘテ居リマス、公園ノ事ニ付テ、審議會ニ出シタ原案ト、ドウデアッタカト云フ御尋デアリマスガ、公園ニ付キマシテハ、差當リ計畫致シマシタモノハ、審議會ニ出シマシタモノモ、又審議會ニ依ッテ——何ト申シマスカ、答申セラレマシタモノモ同ジデアリマシテ、内容ニ於キマシテハ變更致シテ居リマセヌ、尤モ箇所ハ僅カナヤウデアリマス、是ハ主トシテ燒失地域内ニ於ケル事デアリマス、且又此復興院計畫ノ公園ノ外ニ、向ホ市ニ於テ小公園ヲ市内隨所ニ設ケルノ必要ガアルト認メテ居リマス、隨テ是等ニ對シマシテモ、凡ソ五十箇所程豫定ヲ致シテ居リマス、ソレニ對シマシテモ、ソレ——道路ナリ、橋梁ノ復興ニ付キマシテ、市ヲ援助スルト同ジ方法ヲ以テマシテ、或ハ補助ニ、或ハ財政援助ニ依リマシテ、此五十箇所ノ小公園ガ市内隨所ニ配置セラレルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、右大要御答申上ゲマ

ス
○關委員 何カノ地圖ヲ見タノデアリマスガ、ソレニハ此所ニ出デアリマス、隅田公園、江東公園、日本橋公園ノ外ニ神田ノ駿河臺一圓ヲ公園ニス

ル、ソレカラ小石川ノ砲兵工廠跡、ソレカラ被服廠跡、京橋ノ松屋町方面是等ガ、公園ノ豫定地トシテ載ッテ居、タノデアリマスガ、ソレ等ハ今御答辯ニナリマシタル東京市ニ於テ計畫スル方ノ中ニ範テ居ルノデアリマスガ、是等ハ復興院デ自ラサレル必要アリト御認メニナラナイノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒマス、ソレカラ御計畫ニナッテアル江東公園デアリマス、本所區ノ猿江町ノ附近、此方面ハ餘程東ノ端ニナッテ居ッテ、一步出ヅレバ郡部ヘ避難スルコトノ出來ル場所デアアル、ソレヨリモ被服廠附近、兩國橋若クハ新大橋附近ニ於テ設ケラレタ方ガ、兩區ノ市民ノ避難ノ爲ニハ却テ便利デアリハシナイカ、其利害得失ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○池田府委員 只今御指摘ニ相成リマシタ駿河臺デアアルトカ、砲兵工廠デアアルトカ云フヤウナ所ガ、公園計畫ノ圖面ニ彩ラレタコトハ事實デアリマス、併シ是等ハ何レモ現ニ公用ニ供シテ居ル所ノ土地デアリマス、故ニ是ハ公用ノ廢止ニデモ相成ルヤウナ場合ガアリマシタナラバ、之ヲ以テ公園ノ用地ニ充テタイ、斯様ニ考ヘテ居ル理由ヲ以テ、公園計畫ノ中ニ彩ッテ居ルノデアリマス、併シ今回ハ實行ノ豫算ヲ立テ、實行豫算ニ伴フ計畫ヲ確立スルコトヲ以テ本旨ト致シマシタガ故ニ、左様ナ圖上ニ於テ彩ッテ置イタヤウナ計畫ハ、審議會ニモ付議致サレナカッタノデアリマス、ソレカラ江東公園ノ事ニ付テ御話ガアリマシタ、如何ニモ被服廠跡ヲ以テ公園ノ豫定地トスルト云フコトハ、極メテ結構ノ事デアアルト考ヘテ居リマス、而モ被

服廠ハ恰モ安田翁ガ寄附セラレマシタ安田公園ト僅カ一路ヲ隔ッテ存在スル地籍デアリマス、隨テ此兩者ヲ合セテ一團ノ公園トナシ、又其公園ガ若シモ狹クアルナラバ、其附近ニ對シテ買収ヲ試ミルト云フコトモ一ノ有力ナル案ト考ヘマス、サリナガラ被服廠跡ハ一萬七八千坪アッタト記憶致シテ居リマスガ、其内ノ大部分ハ既ニ逓信省ノ用地或ハ學校ノ用地、或ハ電氣局ノ用地トシテ設定セラレテ居ルノデアリマス、而モ是モ公用ヲ持ッタモノデアリマシテ其公用ノ廢止ヲスルト云フコトハ、現在ニ於テハ許スベカラザル事情ニアル譯デアリマス、隨テ此附近ニ對シマシテ大ナル公園ヲ設ケルト云フコトハ事實ニ於キマシテハ出來難イ事ニナッテ居リマス、其公用ニ供セラレマス部分ノ外ハ、是ハ東京市ニ於テモ既ニ公園トシテ定メテ居ルノデアリマス、安田公園ト併セテ相當ノ效用ヲナシ得ルコトニナルト考ヘテ居リマス、故ニ其様ナ所ニ大ナル公園ヲ設ケルヨリモ、更ニ最モ密集シタ地區ニ相當大規模ノ公園ヲ造ル方ガ適當ナリト認メタ譯デアリマス、ソレニハ丁度後江裏町ハ最モ人口ノ稠密ノ所ニ近クアリ、而モ其土地自身ハ帝室ノ土地デアリマシテ、恐ラク江東方面ニ於キマシテ一番惡イ土地デアアルト考ヘマス、左様ナ土地ニ相當ノ設備ヲ加ヘテ、其役ニ立タナイ土地ヲ公園トシテ利用スルコトハ、一舉兩得デハアルマイカト考ヘマス、而モ場所ハ御料ノ貯木所ニ接シテ居ルノデアリマス、御料ノ貯木所ノ中ニハ相當大キナ水面モアルト云フヤウナ譯デアリマス、又其適當ノ所ヲ東京市ノ方ニ御下賜ニ相成ルト云

フヤウナ恩命モ内々東京市ノ當局ニ御傳ヘニナッ
テ居、タト云フヤウナ事モアル譯デアリマス、ソレ
ヲ合セテ相當ノ地積ノ大キナ公園ガ彼處ニ出來ル
ト云フコトハ、極メテ適當ノ計畫デアルト考ヘテ
居リマス、郡部ニ接シテ居ルト云フ御話デアリマ
スガ、アレカラ先キノ郡部ト云フモノハ、大島町ナ
リ、龜戸町ナリ、其他郡部デアリマシテモ、人口稠
密ノ所デアリマス、而シテ其狀態ハ全ク東京方面
ト其運命ヲ共ニスルモノデアリマス、江東方面ガ
益ルレバ皆彼處ニ出ル、行政區域ト致シマシテハ
其管轄區域ヲ異ニシテ居リマスガ、其運命ハ正ニ
共通スルモノデアル、利害ヲ一ニスルノデアリマ
ス、ソレ等ノ地區ノ爲ニ斯様ナ所ニ相當大キナ面
積ノ公園ヲ設置シマスコトハ、最も適當ノ事ト考
ヘテ居リマス

○高木委員 公園敷地ノ問題ニ付テ、國有財産ノ
今日整理スベシト云フ方ニ屬シテ居ル分ニ對シ、
何故カ復興院ガ手ヲ著ケテ居ラナイ、勿論國有財
産ト申シテモ、之ヲ賣却シテ例バ今御話ニナッ
碕兵工廠ノ如キモ、移轉スルコトニナッテ居リマ
スガ、是ハ國有財産ノ方デ種財産ニナッテ居ルモ
ノデ、東京市ノ方ヘ行クコトニナッテ居ルモノモア
ル、赤坂ノ射的場ノ所ナドモ、一昨年大藏省ガ拂下
ダルトカ何トカ問題ニナッテ居タ、斯カル土地ハ東
京市内ニ澤山アル、内務省ニハ國有財産調査會ニ
關係ノ方モ居ラレル、何故ニ今度ノ復興計畫ヲナ
サルニ付テ、實際種種財産デアッテモ、公用ニ供サ
ナイモノト定マッテ居ルモノヲ考慮サレナカッタノ
デアルカ、赤坂ノ聯隊師團地ノ如キモノモ、整理ス

ルコトニナッテ居ル、赤坂ノ射的場ハ三万坪アリマ
スカラ、公園ニハ最も適當デアッテ周圍ハ人家ノ密
集シテ居ル所デ、日枝神社モ附近ニアリマスガ、斯
様ナ場所トカ、或ハ大塚ノ火藥庫跡ナドモ、整理サ
レルコトニナッテ居ル、成ベク斯様ナ土地ハ復興院
ノ方ヘ御取入レニナッテ、公園トシテ避難所トシテ
最も適當ナモノト思ヒマス、御注意爰、申シテ置
キマス

○池田政府委員 御注意ハ能ク承リマシタ、赤坂
ノ射的場ニ付テ御話ガアリマシタガ、アレハ東京
市ニ於テ住宅經營地トシテ之ヲ陸軍省ヨリ拂下ヲ
受ケテ、住宅地ニ致シタイ計畫ニナッテ居リマス、
現在ハ只今御話ノ如ク大藏省ニ貸シテアリマス
ガ、矢張同ジ計畫ヲ東京市ハ持ッテ居リマス、隨テ
東京市ノ計畫ニ矛盾シタ事ヲ只今考ヘル必要ハナ
イト認メマシタノデ、公園トシテハ今日相當其配
置ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、又其他ノ官有財
産ニ付テノ御話デアリマシタガ、今回復興院トシ
テハ官有ノ建物、官有ノ土地ト云フヤウナモノニ
就テ、其公用ノ上カラ考ヘマシテ、必スシモ現存シ
テ居タ所ニ存置シナケレバナラヌト云フ特殊ナ理
由アルモノ、外ハ、之ヲ適當ノ土地ニ移轉セシム
ル方針ヲ執ッテ居リマス、而シテ此方針ハ既ニ參與
ノ會議ニ於テモ是認サレ、又評議會ニ於テモ是認
サレテ居ル次第デアリマス、ソレデ斯様ナ事ハ段
段實現セラル、モノト御承知置キヲ願ヒマス、後
樂園ノ問題ニ付テモ、是等モ只今申上タコトノ中
デ御諒解ヲ願ヒタイト考ヘマス

○八田委員 内務大臣ニ質問致シタイト思ヒマス

ガ、午後御出席ト云フコトデスカラ其際伺ヒマス
ガ、先ツ承ッテ置キタイノハ、東京市ノ地震ニ對ス
ル歴史ト事實トヲ承ッテ置キタイ、六十年目ニ必ズ
一回來ルト決定シテ居ルヤウナ大地震ガ到來ス
ルト云フ歴史アルコトヲ聞イテ居リマスガ、之ヲ
復興計畫ニ對シテ怖ヲ抱イテ居リマスカラ、東京
市ノ地震ノ調査ヲ承ッテ置キタイ、私共ガ東京市ノ
鐵管敷設ナドノ工事ヲ日比谷邊デヤッテ居ルノヲ
見ルト、貝殻屑ナドガ出テ來ル、確ニ山地デナクシ
テ、以前ハ海デアッタノガ、近々五六年前迄サウデ
ハナカッタト思ハレル、東京市ノ地震ト云フト、火
事ヲ何時デモ連想サレマスガ、先ツ此事ニ付テ政
府ハ如何ナル調査ヲシテ居ラル、カ、之ヲ承ッテ置
タイ、即チ地震ノアッタ年、竝ニ地震ノ如何、之ニ附
帶シテ承ッテ置キタイノハ、幕府當時ニ於テ東京ノ
大地震、火事、其様ナ慘害ニ對シテ當時幕府ノ施設
シタル事績ガアレバ、其事ヲ承ッテ置キタイ、又近ク
明治二十五年ノ濃尾ノ震災ニ對シテ、政府ハ如何
ナル施設ヲ爲シタカト云フ事ヲ承ハリタイト思ヒ
マス

○池田政府委員 東京市ノ地震ニ對シテノ沿革ニ
付テ御質問デアリマスガ、是等ノ事ハ建築局長カ
ラ十分御話申上ルコトガ出來ヤウト思ヒマスノ
デ、今其出席ヲ求メマシタカラ、其方カラ御聽取リ
ヲ願ヒマス、ソレカラ地質ノ點ニ付テハ、如何ニモ
只今御話ノ如ク東京市ハ元ト埋立地デアッテ海デ
アッタモノヲ段々拵ヘタ所ガ多クアリマス、殊ニ地
質ハ御話ノ如ク工事等ニ最も密接ナル關係ヲ持
テ居リマス、若シ地質ノ調査ヲ怠リマシタナラバ、

其上ニ立派ナ建築ヲ致シテモ、不時ノ災害ニ罹ルコトハ言フ迄モナイ事デアリマス、又水道トカ下水トカ云フ様ナ土木工事、橋梁工事ノ如キ、何レモ非常ナル損害ヲ受ケルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ既ニ或ハ地質調査會、震災豫防調査會ト云フヤウナ所ニ於キマシテ、色々研究ノ結果モアリマスシ、又大學ニ於テ相當ノ研究ヲ致マシタ、東京市內ニ於ケル地質ノ硬軟ヲ區別シテ、サウシテ造ラレタル圖面モアル譯デアリマス、併シソレ等ノ圖面ハ、調ベル度毎ニ更正セラレテ居リマスカラシテ、今回ノ震災ニ依リマシテ、之ヲ更正スルノ必要アリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、綿密ナル調査ヲシナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、既ニ相當ノ費用ヲ責任支出ヲ致シマシテ、震災豫防調査會ノ方デ致シテ居リマス、サウシテ復興院ト致シマシテモ、此地質ノ調査ニ付キマシテハ、最も必要ヲ認メマシテ、政府ノ方面ニ於テ調査ノ遺漏ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、若干此地質ノ調査ニ必要ナル費用モ、今回ノ豫算ノ中ニ計上シテ居リマス、ソレニ依リマシテ十分ニ地質ノ調査ヲ致シ、又必要ニ依リマシテハ幾多ノ鑿井ヲ市内ニ試ミマシテ、深キハ千尺位ノ所迄ヤリタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ此地質ニ關スル調査ハ、最も綿密ニ致シマシテ、是等ノモノヲ本トシテ地盤ノ硬軟ヲ調べタ所ノ方面ニ於テ、又建築ノ方面ニ於テ、ソレ等ノ調査ニ基イテ色々ノ計畫施設ヲスルコトガ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス次第デアリマス、幕府ノ地震ニ對シテ執ッタ始末ナリ、濃尾ノ地震ニ付テ執リマシタ始

末ナリニ付キマシテ、御尋ガアリマシタガ、是ハ私ハ十分ニ存ジテ居リマセヌノデ、他ノ方ノ人カラ御答申上ダルヤウニ致シタイト思ヒマス
○佐野政府委員 東京ニハ度々昔カラ地震ガアリマシテゴザイマスガ、大地震ハ、今回ニ匹敵スベキ若クハ近イヤウナ地震ノ數ハ、サウ澤山ハゴザイマセヌヤウデス、先ツ安政ノ地震、ソレカラモウ少シ前ノ元祿ノ地震位ノモノカト思ヒマス、激シサニ付キマシテハ、ハッキリ致シマセヌデゴザイマスガ、差ガアラウカト思ヒマス、其他數ハゴザイマスガ、大體ニ地震學者ノ說デハ、矢張サウ云フモノガ繰返ヘスモノト考ヘテ居ラナケレバナラヌコト、ナッテ居ルヤウニ思ヒマス、但シ今回ノ地震ニ依テ、暫クノ間落付イタモノデアルカ、或ハ今回ノガ更ニ次ノ激シイ地震ヲ近ク喚ビ起スモノデアルカト云フコトニ付テハ、色々議論モアルヤウデゴザイマス、地盤ノ研究ニ付キマシテハ、只今ノ池田政府委員カラ御答シタ事デ盡キテ居ルト思ヒマスガ、今回當局ト致シマシテハ、東京ニ約千箇程ノ場所ヲ試ミタイト思ヒテ居リマス、ソレカラ震災ニ對シテ幕府ノ執リマシタ處置ト申ス事ニ付キマシテハ、耐震構造ト云フヤウナ方面ニ付テハ、別段ノ事ガアッタヤウニモ存ジマセヌガ、一般ノ民家ニ對シマシテ、唯々救護ナリ其後ノ建築ニ對シテ、資金ノ事、金融ノ事、ソレカラ諸職人等ノ手間賃、材料ノ値段ノ事等ニ相當ノ骨ヲ折タ事ガアリマス、殊ニ安政ノ地震ナドニアルヤウデアリマス、濃尾ノ震災ノ後ニ政府ノ執リマシタ處置ニ付キマシテハ、震災豫防調査會——只今池田政府委員ノ申上

デマシタ震災豫防調査會ハ、濃尾ノ地震ノ事カラ起ッタヤウニ承知シテ居リマス、ソレデ至急ニ此耐震構造ノ研究ヲモ併セ進メマシテ、地震地帯ニ對シテ構造上ノ注意書ヲ配付シタヤウニ承知シテ居リマス、其後モ地震ノ調査或ハ耐震構造ノ研究ヲ續ケテ居リマスコトハ勿論デアリマスガ、或ハ秋田ノ地震、酒田ノ地震、櫻島ノ地震、彦根ノ地震ト云フヤウナ、地震ノ度毎ニ能ク調査シマシテ、其地方ニ向クヤウ構造ノ方法ヲ攻究シテ、ソレヲ縣ヲ通シテ配付シタヤウニ承知シテ居リマス
○八田委員 内務大臣ニ御伺致シマスガ、文化ノ中心ト政治ノ中心トナッテ、此東京ハ非常ナル發展ヲ致シ、之ヲ地方ト比較シテ見マスルト云フト、吾等地方ニ住居ヲシテ居リマス者ガ、東京發展ノ狀況ニ對シテ、竊ニ國家ノ爲ニ諸般ノ方面ヨリ考ヘテ、斯様ナ都會地ノ發展ハ、一面ニ於テ國家ノ狀況カラ見ルト、是ハ餘程考フベキモノデアルト吾々ハ平素カラ考ヘテ居リマス、所ガ地震ニ依テ遂ニ焦土ト化シ、慘憺タル狀態ヲ現出シタルコトハ、吾等ノ同情ニ堪ヘザル所デアリマスガ、此ヲ亞米利加等ニ於ケル華盛頓、紐育、斯ウ云フヤウナ所ニ對照シテ考ヘマスルト、華盛頓ハ政府ノ中心地デア、サウシテ紐育ハ商業工業等ノ中心地トシテ榮ヘテ居ル、斯様ニ政治中心地ト商業工業ノ中心地ト幾分カ異リヲ以テ居ル狀態デア、ルデアリマシテ吾々ハ決シテ東京ガ諸般ノ中心地トナルト云フコトニ付テハ、餘リ國家ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、喜ブベキ事デナイト平生考ヘテ居リマシタ一人デアリマシテ、此震災ニ對シテ、マ、遷都論ガ起リマ

シテ、東京ハ確ニ國防ノ上カラ見テモ帝都ヲ置ク地帯デハナイ、是ハ宜シク宇都宮ニ遷スベシ、或ハ西ノ方ニ遷スベシ、或ハ空中飛行機ノ上カラ考ヘテ……

○高橋委員長 演說中デアリマスガ、貴族院ノ方デハ、登壇ヲシテ内務大臣ノ來ルヲ待テ居ルト云フコトデアリマスカラ、復興院總裁ノ離席ヲ承認致シマシタ

○八田委員(續) 左様ニ國防ノ上カラ考ヘマスト、サウ云フヤウナ所ハ、國防上カラ見テ、一面ハ海ニ面シテ居ルト云フ東京ハ適當シテ居ラス、是ハ宜シク四面山ヲ負ウテ居ルト云フヤウナ盆地ニ帝都ヲ奠メルコトガ、一番國防ノ上カラ考ヘルト、帝都トシテ適當デアル、詰リ會津方面ガ最も適當デアラウト云フヤウナ、國防論ノ方カラ言ウタ者ガアリマシタガ、吾々ハ斯様ナ噂ノ爲ニ、當時危惧心ヲ抱イテ居タノデアリマス、然ルニ詔書ヲ煥發シテ、サウシテ此帝都ハ九月十日ノ御詔書ニ依リマシテ、東京ハ帝國首都トシテ政治經濟ノ樞軸デアル、斯ウ云フ御詔書ヲ賜テ人心不安ノ念ヲ一掃サレタノデアリマス——此問題ハ非常ナル重大問題デアリマスカラ、内務大臣ニ申シタカッタノデアリマス、ソレニ……

○高橋委員長 貴方ノ御演說ハ續ケテ下サイ、ソレトモ歸テカラ演說ヲシマスガ、内務大臣ハ歸テカラ返事ヲスルト云フコトデアリマスガ……

○八田委員(續) 重大問題デアリマスカラ、特ニ内務大臣ノ出席ヲ待テカラ……

○高橋委員長 ソレナラバ中止セラレテ、別ナ問題ヲ論ジラレテハ如何デス、更ニ其先ヲ内務大臣ガ參ヘラレテカラ御ヤリニナッテハ如何デス、貴族院ノ方モ吾々ハ無視スルコトハ出來ナイ、尊重シナケレバナラヌ、演壇ニ上ラレテ待テ居ルト云フコトデアリマスカラ、此場合認メタ方ガ適當ダラウト思ヒマス——向フハ本會議、此方ハ委員會デスカラ……

○八田委員(續) 詔書ヲ煥發シテ人心ノ不安ヲ一掃シ、帝都ハ東京デアアル、變更セヌト云フ御詔書ガ出タト云フコトニ付キマシテハ、宜シク聖恩ノ忝ナキコトヲ、東京市民ニ徹底セシムル方法ヲ取ルコトガ、輔弼ノ臣トシテ、將ニ盡スベキ事デナカラウカト考ヘマス、是等ハ群疑ヲ一掃シテ、帝都ガ東京ト云フ地ヲ動スベカラズト云フコトノ御詔書ノ忝ナキコトニ付テハ、東京市民ニ夙夜感激セシムベキ方法ヲ今ニ於テ取ルカ、今後ニ於テ取ルカ、是ハ内務大臣トシテ、輔弼ノ重臣トシテ爲スベキ事デアラウト信ジマス、ソレニ對シテ如何ナル處置ヲ目下及今後ニ於テ取ラントスルカヲ問イテ置キタイト存ジマス、ソレカラ其次ニ伺ヒマスガ、是ハ内務大臣デナクテモ宜シイ、先程來、地震及地盤ノ上ニ付テノ御話ガアリマシタガ、私ハマダ明確ヲ缺イテ居ルヤウナ風ニ考ヘマシテ、不安ヲ一掃スルニ足ラナイコトヲ殘念ト致シマス、地質地盤ニ付テ如何ナル調査ヲサレテ居ルカニ付テ、若シ調査ノ書類デモアッタナラバ、若シ簡單ナ數字ノ調査デモアッタナラバ、ドノ地面ハドウ云フ風ニナッテ居ルト云フコトニ付テ、御分リニナッテ居タナラバ、是ガ御市シテ願ヒマス、ソレカラ地盤ニ付テ、

地震ニ甚ダ不適當ナル地盤トスルナラバ、建物ニ對スル法案、即チ市街地建築物法、大正八年四月ニ發布ニナッタ法律ニ對シテ、改正ヲ加ヘテ置ク必要ガアルカト思ハレマスガ、其邊ニ對スル調査ノ程ヲ承テ置タイ

○池田政府委員 内務大臣ニ對スル御質問ニ對シマシテハ、内務大臣ガ參ラレマシテカラ御答致シマス、市街地建築物法ニ付テノ御尋ガゴザイマシタガ、市街地建築物法ヲ大正八年ニ發布セラレマシタ時ニ、即チ當議會ノ御協賛ヲ仰ギマシタ時ニ於キマシテモ、東京市ガ地震帶ニ屬シ、又先程建築局長ヨリ申上デマシタ如クニ、屢、地震ニ悩マサレタ沿革ヲ有テ居ルト云フコトニ付キマシテハ、相當ノ考慮ヲ廻ラシタノデアリマス、殊ニ震災豫防調査會ニ於キマシテハ、建築地質等ノ方面ノ有力ナル學者モ集マリ、其他土木ノ方面ニ互テノ我國ニ於ケル學問上ノ耆宿ガ集マリマシテ、ソレガ地震學ノ泰斗ノ人ミト共ニ、始終色々ノ研究調査ヲ致シテ來マシタノデアリマシテ、其結果建築土木ノ方面ニ於キマシテ、據ルベキ準則ニ對シマシテハ、相當ノ研究ガサレタ譯デアリマス、ソレ等ヲ本ト致シマシテ、建築ノ構造制限ヲ致シタコトデアリマス、既ニ地震ノ事ニ付キマシテハ、上下動ナリ、水平動ナリ、左様ナル關係ニ於キマシテ、相當ノ考慮ノ結果、御審議ヲ得テ確定シタ法律デアリマシテ、此點ヲ於キマシテハ、主要ナル部分ニ於キマシテハ、右申上ダヤウナコトデアリマスカラ、變更ヲ加フルノ心配ハ要ラナイ事ノヤウニ考ヘテ居リマス、唯、併シ今回ノ震災ハ濃尾ノ大震災以

來ノ大震災デアリマシテ、而モ色々ノ新ラシキ構造ノ建築物ガ、恰モ非常ノ好景氣ノ時ニ澤山出来テ、而モ永久的ノ建築物ガ澤山出来タト云フヤウナ譯デアリマス、ソレ等ノ建築物ガ如何ナル被害ヲ受ケタノデアルカ、地盤地質トノ關係、或ハ構造自身ノ施工方法ニ於テ、或ハ基礎ノ關係、或ハ建築ノ高サ、或ハ壁體ノ點ニ於テ、如何ナル影響ヲ受ケタノデアルカ、其影響ヲ十分ニ調査致シマスルコトハ、是非非常ニ緊要ナ事ダト考ヘマシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ、最モ考慮ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ被害ノ調査モ段々ニ出来テ居リマス、其結果ト致シマシテ勅令以下ノ部分ニ於キマシテハ、多少修正ヲ加ヘルノ必要ガアルモノト考ヘマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、今專ラ此方面ノ學者ヲ網羅シテ居リマスル震災豫防調査會等ノ意見ヲ徵シマシテ、適當ナル案ヲ速ニ得ルヤウニシタイト考ヘテ居ル所デアリマス、而シテ地盤ノ硬軟等ニ關スル調査ニ付テ、書類ガアラバ出セト云フ御話デアリマスガ、只今迄ニ付テ居リマス事ハ、書面ニ致シマシテ御覽ニ供シタイト考ヘテ居リマス

○高橋委員長 八田君、只今ノ濃尾ノ震災ノ善後策ノ事ニ付テ、政府委員ノ御答辯ガアリマス

○長岡政府委員 濃尾震災ノ際ニ政府ノ執リマシタ善後策ニ付テ、御質問ガアツタサウデゴザイマシタガ、只今書類ヲ此處ニ持合セテ居リマセヌノデ、唯モ記憶ニ殘ッテ居ル所ヲ簡單ニ申上ゲマス、先ヅ第一ニ縣ノ罹災救助基金ガ不足デアルト云フコトヲ認メマシテ、之ニ對シテ十分ノ補給ヲ致シテ、

災害ニ罹リマシタ者ノ救済ト云フコトヲ致シマシタノト、今一ツハ御承知ノ縣ノ災害土木費ニ對シテハ、明治十三年頃カラ國庫デ其一部ヲ補助スルコトニナリ來ッテ居リマス、今日ニ於キマシテモ、御承知ノ明治四十三年ノ勅令ニ依リマシテ、災害復舊工事ノ工事費ト其縣ノ地租額トノ割合ヲ取リマシテ、一部ヲ補助シテ居リマス、濃尾震災ノ際ニ限リマシテ、其被害ガ甚シイ、又地方ノ負擔力ガ非常ニ乏シカタト云フ兩方ノ點ヲ考ヘマシテ、復舊工事ニ對シマシテハ特ニ國庫カラ金額ヲ補助シテ、震災前ノ狀況ニ復シタ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、大體其一點ガ重ナル點デアルト考ヘテ居リマス

○八田委員 吾々ハ政府ガ——國ガ當然爲スベキ仕事ト、ソレカラ自治體ガ爲スベキ仕事ト分別シテ按排スルコトガ當然ノ事デアッテ、若シ其施設ヲ誤ッタナラバ、憂フベキ茲ニ備ヲ作ルモノデアルト云フ心配ヲ懷イテ居ル者デアリマス、其見地ヨリ吾々先般審議會ニ於テ議セラレタル一般ノ事ヲ新聞等ヲ通シテ見マスルニ、深切可憐ナル議論ヲ盡サレテ、餘リ政府ノ計畫ガ危大ニ過ギル、是ハ自治體ヲ以テヤラシムベキコトデ、國ガ引取ッテ爲スト云フコトハ、自治體ノ權限ヲ侵スモノデアルシ、一面ニ於テ憐レナル地方ノ自治體ヲ益々衰微セシムルヤウナ事ガ、一番心配デアルトシテ、政府ノ提案シタルモノニ對シテ大削減ヲ試ムル東京市ニ於ケル道路ノ如キモ、政府ハ四十何本トカヲ計畫シテソレハ僅ニ二幹線デ足ル、他ハ自治體ヲシテヤラシムベキコトデアルトシテ、一幹線ヲ認メル、九段

ヨリ龜戸ノ方面ノモノト、南品川ノ方ニ走ル線ト、此二幹線ノ大道路ヲ認メテ、是ハ國ノ上ニ於テ當然此位ノ事ハ爲スベキコトデアアル、其他ノ諸幹線ニ付テハ、宜シク地方ニ委ヌベシトシテ、審議會ヲ達ラレタコトヲ聞イテ居リマスガ、今回提案ニナッタ此豫算ヲ見マスと云フト、サウデナクシテ、全ク其審議會デ議セラレタ事トハ違ッテ、有ユル線路ヲ玆ニ網羅シテ提案サレタガ如ク吾々ハ拜見スルノデアリマスガ、審議會ニ議シタル事ト、政府ガ今回提案シタル事ト、其差別アラバ、其差別ノ點ニ對シテ明カニ承ッテ置キタイト思フ

○池田政府委員 國ト自治體トノ仕事ノ配分ニ關スル大體ノ方針ニ付テハ、只今御話ニナッタ通りト思ヒマス、吾々モ始終其心得ヲ以テ國ト地方トノ間ノ事業ヲ分ッテ居ルノデアリマス、併シ只今審議會ノ議場ニ於ケル事ニ付キマシテ、色々御話ガアリマシタガ、私ハ審議會ノ方ニハ列シテ居リマセヌカラ、如何ナル質問應答ガアツタカト云フコトハ存ジマセヌ、隨テ其點ニ付テ申上ゲルコトハ出来ナイノデアリマス、審議會ノ決議サレ、申合ヲサレタトカ云フヤウナモノヲ拜見シテ見マスと云フト、上水道下水道ノ如キモノモ、國費ヲ以テ國デヤルヤウニト云フヤウナ事項ガアリマシタ、上水ナリ下水ハ、是ハ市ノ營造物デアリ、現ニ東京市ニ於キマシテハ、自ラ其事業ヲ施行シテ居ルノデアリマス、其仕事ノ繼續中ノモノデアリマス、其仕事ノ效果ヲ收メルガ爲ニ、更ニ進ンデ行カナケレバナラヌ仕事デアリマス、ソレヲモ國費ヲ以テ國ノ仕事トシテヤレト云フヤウナ事項ガ確ニアツタヤニ

私モ新聞デ承知シテ居リマス、左様ナ事カラ考ヘテ見マス、御市シニナタガ如キ事ハナカタノデハナイカト承知スルノデアリマス、又道路ニ付テノ御話ガアリマシタガ如何ニモアノ審議會ノ申合ノ第一項ノ中ニ、二ツノ幹線ダケハ相當ノ修築ヲ加フベキモノト云フ言葉ガアリマス、併シ其邊モ全部認メナイト云フヤウナ只今ノ御話デアリマシタガ、私共ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、アノ文章ハ私今能ク存ジテハ居リマセヌガ、其他ハ大體現在ノ道路ト云フモノニ依ッテ擴張スル必要ナル程度ニ止メルヤウニ致スコトヲ趣旨トシタイト云フコトガ書テアッタト存ジテ居リマス、ソレハ丁度内閣總理大臣ガ諮問セラレマシタ趣旨ハ、正ニ其趣旨デアルノデアリマス、大體ニ於キマシテハ、現在ノ道路ヨリ良クスル意味デアアル、而シテ擴張スベキモノハ、是ハ必要已ムベカラザル限度ニ止メル、斯様ナコトデアリマス、其點ニ付テハ審議會ノ御申合モ、内閣總理大臣ガ諮問サレマシタ案モ同様デアアル、唯ミ違フ所ハ二ツノ幹線ニ對シテ、出來ルナラバ其點ニ於キマシテ相當ノ修築ヲ加ヘマシテ、二十四間道路ハ之ヲ幅ヲ減縮シタト云フコトニナッテ居リマス、而シテ其他ノ道路ニ於キマシテモ、必要已ムベカラザル限度ニシロト云フ御話デアリマシタガ、或ハ二十間道路ヲ十八間道路ニ落シタ所モアル、或ハ又十五間ニ擴張セント欲シテ居リマシタ所ノ道路ガ、現在ノ其道路ガ十二間ノ幅員ヲ保ッテ居ル所ノ故ヲ以テ、ソレハ設計ヲ變更セズニ、即チ現在ノ道路ニ依ルト云フコトニシタ所モ

アルノデアリマス、是等ハ何レモ審議會ノ趣旨ニ依リマシテ、已ムベカラザル限度ニ於テ、ドレ迄我慢ガ出來ルカト云フコトヲ攻究致シマシタ末ニ、審議會ノ思召ニ斯クスレバ副デアアラウト考ヘル、又道路ノ交通ノ上ニ於テ、或ハ將來危難ニ遭タ場合ニ處スルノ方法トシテ、我慢シ得ル最小限度ニシテ、斯様ナ設計ニ變更セント欲シテ居ル譯デアリマス、此點ニ於キマシテハ何等國ト自治體トノ仕事ノ分方ト云フヤウナコトニ付テ、觸レテ居ル問題デハナイト考ヘマス、サウシテ元來此國ト地方ガヤル仕事デアリマスノハ、之ニ對シマシテハ昨日モ既ニ速記ヲ止メテ御話申上ダタヤウナコトデ、大體ノ御諒解ヲ得テ居ルコト、思ヒマス、例ヘバ河ノ問題ニシマシテモ、港ノ問題ニシマシテモ、其内容ニ於テハ正ニ都市計畫ノ仕事デアリマス、例ヘバ大阪ニ於テ淀河ノ下流ニ改修工事ヲ施ス、之ハ何デアアルカト申セバ、大阪市内ニ於ケル運河ノ低水工事デアリマス、又大阪ノ港ヲ造ル、或ハ鹿兒島ノ港ヲ造ル、其ノ他諸市ニ港灣ノ經營ヲスル、是正ニ實質ニ於キマシテハ都市計畫デアリマス、左様ナモノニ對シマシテモ、從來國ガ之ヲ自カラ施設シタ所ノ例ハ幾多アルノデアリマス、隨テ斯様ナ仕事ト、今回ノ災害ノ非常ナ場合ニ處シテ實行スベキ仕事ト比ベテ、何レガ重キカ、何レガ輕キカ、又國家ノ上カラ見テ重要デアアルカト云フコトハ、之ハ審議スルノ必要ヲ認メズニ宜イモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ今回主要ノ街路ノ設計ヲ定メ、ソレニ伴ウテ一千百万坪ニ

互ル——恐ラク之ハ私ハ振古未會有ト言ッテモ宜イト思フ、世界ニ其類例ナキ大ナル仕事ヲシヤウト云フノデアリマス、區劃整理ノ仕事ノ如キハ、獨逸デモヤッテ居リマス、又英吉利アタリデモ「タンフラニンング」トシテヤッテ居リマスガ、此一千百万坪ニ互ッテ、斯ウ云フヤウナ風ニ大キナ計畫ヲシタト云フ例ハ、私寡聞ニシテ未ダ聞カヌノデアリマス、其ヤウナ大キナ仕事ヲ致シマスルノニ、之ヲ國ノ仕事トシテヤルト云フコトハ、極メテ相當ノ事デアアル、何等ハ疑ヒノナイ點デハナイカト心得テ居ル次第デアリマス、少シ意見ガマシイ事迄申上ダテ、甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、此參考迄ニ申上ダテ答辯ニ代ヘマス

○八田委員 他ノ方ニ付キマシテ、此復興豫算ニ現ハレテ居ル東京市ノ土地ノ平均價格ヲ百九十七圓ト定メタ、約二百圓トシテ計上サレテ居ルノデアリマスルガ、吾々ノ考フル所ニ依リ、又實際ニ於テ知り得タル事實ニ依ッテ之ヲ批判スルニ、之ハ非常ニ私ハ廉ク掲ゲラレタモノト私ハ考ヘル、何故カナラ私共ハ斯様ナル慘害ヲ受ケ、焦土ト化シタル東京市ノ地價ハ、之ヲ機會ニ非常ニ低落スルデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、サウシテ吾々ノ郷里ノ方面カラハ、宜シク此際デアアルカラ、東京ニ行ッテ店ヲ開イテ、サウシテ東京ノ市民トナッテ、大ニ活動スルノハ此機會デアルトシテ、或ハ酒屋ヲ開キ、或ハ醬油屋ヲ營マントシテ、サウシテ東京市ニ來シテソレ——調査ヲ進メテ見マスト云フト、土地ハ非常ニ騰貴シテ、到底手ニ入レルコトモ出來ナイ、震災前ニ比スルト云フ

ト、何倍モスルヤウナ價格トナツタ、又地上權モ動カスト云フヤウナ姿デアツテ、到底開キ得ナイヤウナ状態ヲ現ハシテ居ルノヲ私共知ツテ、サウシテ洵ニ思モ寄ラナイ程東京ハ復興ノ氣分ニ滿チ滿チテ居ル、何處ニ行ツテモ復興スベク張切ツテ居ルノデアル、復興スルコトハモウ氣分が滿チテ居ル、此狀況カラ考ヘテ、事實カラ申上ゲルノデアリマス、皆土地ノ非常ナ騰貴デ、手ニ入レルコトモ何モ出來ナイ、斯様ナ状態デアリマスカラ、私ハ此御計算ハ、確ニ今後土地ヲ買収シヤウト云フ時ニ當テハ非常ナル運算ヲ來スト思フ、確ニ倍額以上ニハ達スルト思フ、此豫算ヲ實行スルニ當テハ、行詰リヲ來シ、又追加ヲ要求スルト云フヤウナコトが來ルト云フコトハ、事實ノ上カラ考ヘテ、此數字ヲ信用シ能ハヌノデアリマス、デアリマスルガ、政府ハ此邊ニ對シテ騰貴ハドノ位ニナルヤウナ御見込デアルト云フヤウナ調査ヲヤリマシタナラバ其調査ノ數字ヲ茲ニ書類ニシテ御用シテ置キタイ、次ニソレニ引續イテマアリマスルガ、此復興法案ノ第七條ニ於テ「總面積ヲ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割以上ヲ減少スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付スルコトヲ要ス」ト斯ウ限ツテ居リマス、之ハ言ヒ換ヘレバ地主ガ一割ヲ市ニ寄附スルコトニナツテ居ルガ、一割ヲ寄附スルト云フコトハ、昨日ノ高山君ノ御問ニ對スル政府ノ御答辯等カラ綜合シテ觀察シテ見マス、ドウモ之ハ餘リ計算ノ仕方ガ輕キニ失スル、地主ハモウ少シ——一割デアルノヲ少ナクトモ一割五分位寄附サセルコトガ

相當デアルト思フ、今申ス通り土地ガ非常ナ騰貴ヲシテ、況ヤ區劃ノ改正ヲ行ツテ整然トシテ來タ所ノ土地ノ騰貴ハ、五十倍四十倍ニ私ハ騰貴スルコトヲ斷言スル者デアリマス、確ニサウ云フ事實ヲ實現シテ來ルト思フ、其時ニ當テ一割位ノ金ヲ提供スルノデハ足ラナイ、其受ケル幸福ガ多大デアルカラ、一割五分位ニサレテモ差支ナイト考ヘルノデアリマス、即チ一割五分乃至一割八分位提供サレテモ差支ナイト思フ程、地主ガ今後ニ於ケル幸福ヲ想像スルモノデアリマス、此邊ニ對シテ政府ハ如何ナル御考ヲ有ツテ居ラレルカヲ伺ヒタイ

○池田政府委員 坪當リ二百圓ト算定致シマシタコトニ付キマシテハ、相當ノ根據ヲ有ツテ居ルノデアリマス、最も此點ニ付キマシテハ慎重ナル調査ヲ遂ゲタノデアリマス、各方面ニ於キマシテ色々ナ取調ヲ致シマシタ、或ハ區長ナリ、或ハ稅務署長ナリ、或ハ登記役場ナリ、左様ナ方面ニ於テ、始終斯様ナ問題ニ觸レテ居ル人ノ意見ヲ聞キ、或ハ市ノ當局者ガ土地ノ收用或ハ土地ノ賣買ト云フヤウナ事ニ付キマシテ、知り得テ居リマス所ノ材料ヲ十分ニ蒐集致シ、又一面ニ於キマシテハ勸業銀行、農工銀行ト云フヤウナ方面、或ハ土地建物株式會社ト云フヤウナ方面、最も此點ニ付キマシテハ、信憑スベキ材料ヲ持ツテ居ル所ニ照會モ致シマス、又人モ派シ、或ハ其方面ノ人ニモ來テ貰ヒマシテ、色々調査致シマシタノデアリマス、而シテ日本勸業銀行ガ東京市ノ土地ニ對シマシテ持ツテ居リマス材料、農工銀行ガ持ツテ居リマス材料、東京市ガ持ツテ居リマス材料ガ一番揃ウタモノデアリマス、此

三者ヲ總テ參酌致シマシテ、而シテ其三者ノ見積テ居リマス價格ヲ平均致シマシタモノガ二百圓ト云フコトニ相成ツタノデアリマス、其三者ノ調査ハ何レモ各區各町ニ互リマシテ、詳細ナル調査ヲ遂ゲタ、ソレヲ本トシテ市内ノ土地ノ總平均ヲ示シテ居ルノデアリマス、隨テ總平均ヲ本トシマシテ、之ヲ折衷致シテ二百圓ト致シマシタコトハ、一番公平ナ見方デアルト思ヒマス、而シテ此二百圓ト申シマスルモノニ對シマシテ、土地ノ價格ノ騰貴ガ頗ル著シイ現象ガアルカラシマシテ、豫算ガ非常ニ不足スルデアラウト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマスガ、何レノ所ニ於キマシテモ、斯様ナ大變災ニ遭ツタト云フ歴史ガアル譯デハナイノデアリマスガ、兎モ角或ル都市ニ於キマシテハ、非常ナ變災ガ、アリマシタ時分ニハ、ソレカラ直グ後ニハ地代——此土地ノ價ト云フモノハ一時非常ニ氣ヲ持ツモノデアリマス、殊ニ復興ノ氣分ノ漲ツテ居リマス所ハ左様デアリマス、而モ何レノ都市ト雖モ、今迄ノ沿革カラシマスト根柢ノ如キガ灰ノ中ニ入ツテシマッタト云フ所ハ別ニシマシテ、非常ナ洪水ニ遭ヒ、或ハ非常ナル火災ニ遭ヒマシテモ、必ズ其都市ト云フモノハ、覆滅スルモノニアラズシテ、必ズ興隆發展スル沿革ヲ持ツテ居リマス、都市ハ恰モ護謨鞆子ノ如ク常ニ反撥スル力ヲ持ツテ居リマス、常ニ興隆發展ノ力ヲ持ツテ居リマス、是ハ洵ニ賴母シイ事ト思ヒマスガ、ソレト同ジヤウナ狀況ニ我ガ東京市モアルト思ヒマス、何處ノ都市ヲ見マシテモ、最近桑港ノ地價ノ騰リ方ヲ見マシテモ、一時ハ騰リマシタ、併シ其騰リ方ハ一時デ

アリマス、デットシテ居ル中ニ自カラ平進點ニ達スルモノデアリマス、隨テ今此場合ニ於キマシテ地價ガ非常ニ高クナッタト云フコトヲ以テ、其高イモノヲ本トシテ豫算ヲ組ンデ行クコトモ出來マセヌ、又地價ガ偶、騰タト云フコトヲ理由トシマシテ、一割ヲ超エル部分ノミヲ補償シテ、其他ハ補償シナイト云フコトヲ不當ナリトシテ、更ニ一割五分ニシヤウトカ、二割ニシヤウトカ云フコトハ、爲スベキ事デハナイノデハナイカ、矢張震災前ニ於ケル地價ト云フモノヲ大體ノ標準トシテ、豫算ノ計算ノ根據トシ、又補償スベキ部分ノ限界ヲ定メルニ付キマシテモ、一割ナラバ一割ト云フモノヲ定メルニシマシテモ、同ジヤウナ見地カラ定メベキモノデアリマス、一時的ノ或ル特殊ノ理由ヲ以テマシテ割掛ヲスルコトハ、大ニ慎マナケレバナラヌト考ヘマス

○後藤國務大臣 只今貴族院ノ方カラ急ニ呼ビニ來マシタノデ缺席致シマシタガ、先刻八田君カラノ御質問ノ趣旨ヲ茲ニ承リマシテ、洵ニ御同感ノ至リデアリマス、此方法ニ付キマシテハ、十分ニ講ジタイト考ヘテ居リマスガ、是ハ一方ニハ何等カノ宣傳ニナルヤウナ事ニ經費ヲ使フコトモ、大ニ謹慎シナケレバナラヌト考ヘマシテ、少シ場合ヲ考ヘテ居ルト云フノガ事實デアリマス、又帝都ト云フモノニ付キマシテ、先刻承リマシタ中ニ、華盛頓ノ如キ、或ハ他ノ經濟都市ノ紐育ノ如キ、市俄古ノ如キ、亞米利加デ申シマスヤウニ、日本デモ分レルガ宜カラット云フコトノ議論ガアリマスガ、是等モ東京市民ニ知ラセルコトガ、東京市民ノ自治

的ノ義務ノ完全ナルコトヲ理解セシムルニ必要ダト考ヘテ居リマス云フモノハ、一方デ華盛頓ノヤウニシタラ宜カラウと言フテ居リマスケレドモ、日本帝國ノ歴史ト、日本帝國ソレ自身ニ考ヘナケレバナラヌ、大國ト小國トハ總テ違フ、銀行デ言ヒマス、銀行ノ種類ガ分レル、此都市ニ於テハ混合銀行ガ必要デアル如ク、小國ハ小國ノ歴史ヲ考ヘナケレバナラヌ、此點ニ於テハ能ク東京市民ガ理解シマシテ、サウシテ多方面ノ綜合ニ依ッテ東京市民ノ生活ト云フモノハ成ルト云フコトマデモ理解サセルヤウニ致サナケレバ、東京市民——自治體トシテ市民一個ノ義務ヲ盡スノニモ遺憾ト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナル意義ニ於テ、東京ヲ繁榮サセル爲ニ、經濟都市ニスル、政治都市ニスル、文化都市ニスルト云フヤウニ一時ニ考ヘラレテ居リマスガ、是等ノ事ニ付テハ、參與會、評議會、延イテハ審議會ニ於テモ、各位ノ御注意モアルコトデアラウト考ヘマス、復興院トシテハ、其邊ノ事ニ付キマシテハ、深ク注意ヲ加ヘ、而シテ現在ノ「サイアンス」ヲ綜合シテ、以テ缺點ナキコトヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、隨テ御説ノ趣意、是等ノ事ニ付テハ、十分ニ盡サナケレバナラヌト云フコトハ、首相ニ於キマシテモ、誠意ヲ以テ心ヲ用キテ居ル所デアリマスガ、ソレ等ノ缺點ニ付キマシテハ、完キヲ致スコトガ出來ヌ譯デアリマスカラ、必ズシモ此議會ノ議員バカリトハ申シマセヌ、多方面ニ亘ッテ此缺點ヲ補フコトニ依ッテ、吾

等モ東京市民ニ知ラセルコトガ、東京市民ノ自治的ノ義務ノ完全ナルコトヲ理解セシムルニ必要ダト考ヘテ居リマス云フモノハ、一方デ華盛頓ノヤウニシタラ宜カラウと言フテ居リマスケレドモ、日本帝國ノ歴史ト、日本帝國ソレ自身ニ考ヘナケレバナラヌ、大國ト小國トハ總テ違フ、銀行デ言ヒマス、銀行ノ種類ガ分レル、此都市ニ於テハ混合銀行ガ必要デアル如ク、小國ハ小國ノ歴史ヲ考ヘナケレバナラヌ、此點ニ於テハ能ク東京市民ガ理解シマシテ、サウシテ多方面ノ綜合ニ依ッテ東京市民ノ生活ト云フモノハ成ルト云フコトマデモ理解サセルヤウニ致サナケレバ、東京市民——自治體トシテ市民一個ノ義務ヲ盡スノニモ遺憾ト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナル意義ニ於テ、東京ヲ繁榮サセル爲ニ、經濟都市ニスル、政治都市ニスル、文化都市ニスルト云フヤウニ一時ニ考ヘラレテ居リマスガ、是等ノ事ニ付テハ、參與會、評議會、延イテハ審議會ニ於テモ、各位ノ御注意モアルコトデアラウト考ヘマス、復興院トシテハ、其邊ノ事ニ付キマシテハ、深ク注意ヲ加ヘ、而シテ現在ノ「サイアンス」ヲ綜合シテ、以テ缺點ナキコトヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、隨テ御説ノ趣意、是等ノ事ニ付テハ、十分ニ盡サナケレバナラヌト云フコトハ、首相ニ於キマシテモ、誠意ヲ以テ心ヲ用キテ居ル所デアリマスガ、ソレ等ノ缺點ニ付キマシテハ、完キヲ致スコトガ出來ヌ譯デアリマスカラ、必ズシモ此議會ノ議員バカリトハ申シマセヌ、多方面ニ亘ッテ此缺點ヲ補フコトニ依ッテ、吾

居ル次第デアリマス、幸ニ御質問ガアリマシタカラシテ、意ノ在ル所ヲ申述べル機會ヲ得タコトヲ感謝致シマス

○八田委員 內務大臣ヨリ只今御深切ナル御答辯ヲ得テ満足致シマス、更ニ伺ヒタイ事ハ、都市ノ繁榮ハ近來各國ノ趨勢デアッテ、構ハヌデ置イテモ都市ハ繁榮スルモノデアアル、斯様ナル時ニ當リマシテ、東京市ガ茲ニ復興法案ニ依ッテ大ナル國家ノ金ヲ以テ復興ヲ圖ルト云フコトハ、如何ナルモノデアリマスガ、即チ震災ノ善後公債法案トシテ五億九千八百萬圓ヲ少額ノ額面ニ依ッテ募集セラル、ト云フコトデアリマス、サウシテ遍ク地方民ヨリ募集スベク起案セラレタト云フコトヲ大藏大臣ノ辯明ニ依ッテ確メタノデアリマスガ、然ラバ復興費ノ大部分ハ、全國ノ各市町村カラ募リ來タル金ヲ以テ、東京市ノ工事ニ充テルモノデアアルト云フコトヲ思ウタナラバ、地方ノ金融ハ之ガ爲ニ益、梗塞ヲ來タシ、東京市ノ爲ニ大ナル犧牲ヲ拂ハセラレルト考ヘマスガ、內務大臣ハ之ニ對シテ如何ナル御考ヲ有シテ居ラレマスガ、願クハ本案ガ通過シタナラバ、東京市民ニ徹底スル方法ヲ講ゼラレマシテ、東京ト地方ト相俟ッテ、相倚リ、相助ケテ參ルヤウニ、兼テ內務大臣ハ斯ウ云フコトニハ堪能ノ御方デアリマスカラ、何等カ之ニ付テ方法ヲ御考ヘニナ、テ居ルコト、思ヒマスノデ、能ク徹底スルヤウナ方法ガアルナラバ、ソレヲ伺ッタ上デ私ノ所見ヲ述ベタイト思ヒマス

○後藤政府委員 只今ノ御質問ノ中ニ、東京市ノ爲ニ零細ノ金ヲ地方カラ集メテ往クト云フヤウニ

大藏大臣カラ御話シタカノ如ク承リマシタガ、ソレハサウデアアルマイト思ヒマス、唯、少額割増債券ヲ出スト云フコトデアラウト思ヒマス、東京市ト致シマシテハ、此度ノ震災ノ爲ニ相當ノ工事が起レバ繁榮モ致シマスガ、之ガ爲ニ勞働者ノ集合ノ結果、東京市民ガ非常ニ苦痛ト考ヘ、又東京市ニ於テハ之ガ爲ニ社會局ノ施設デ日も足ラザル勞ヲ執リ、又其費用ニ堪ヘヌト云フコトモアルノデアリマスカラ此等ノ按配宜シキヲ得ル爲ニ、勞働者ハ相當自營ノ方法、勞働者自治的ノ觀念ヲ有セシムルト云フコトノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ金ヲ集メル爲ニ少額保險ヲ獎勵スル下云フガ如キハ、最モ偏狹ナル思想デ、狹隘ナル見識ト謂ハナケレバナラヌノデアリマシテ、此等ノ事ニ付キマシテハ、此度五箇年ニ亘テ殆ド十億ニ近キ工事が起ルト共ニ、自營自治ノ方法ヲ勞働者ヲシテ執ラシムルト云フコト、又失業者ノ爲ニ失業ノ保險ノ方法ヲ爲サシムルトカ云フ見地カラ、此零細ノ金ヲ集メマシテ、又獨リ帝都ノ爲ノミナラズ、地方ノ爲ニ之ヲ頒ツヤウニシナケレバナラヌト云フ意義デアルト考ヘテ居リマスカラ、此零細ノ金ヲ地方カラ蒐集スルト云フコトハ、決シテサウ云フ事デナイ、又内務省ニ於テハ斯様ニ考ヘテ居リマス、茲ニ郵便貯金ノ如キモノモ、小都市ニ於テハ能ク集マリマス、併ナガラ郡村ニ於テハ集マルコトガ出来ナイ、所ガ之ヲ平均ニ配付スル爲ニハ、此低利資金分配ノ爲ニ委員ヲ設ケテ、サウシテ例ヘバ甲ノ村ニハ數万圓ノ金ガ集マル、乙ノ村ニハ數千圓シカ集マラナイ、甲ノ市ニハ數十萬圓

ノ金ガ集マルト云フ時ニ當テ、其郵便貯金ニセヨ少額債券ニセヨ、集クモノ、或程度ノ外ハ之ヲ分配スルニ宜シキヲ得セシムルヤウニシナケレバナラヌト云フコトハ、内務當局トシテハ切ニ希望シ又大藏當局ニモ此事ハ既ニ注意ヲ拂テ貰フヤウニ交渉中デアリマス、只今八田君ノ述ベラレマシタ所ノモノハ、一面カラ見ルト甚ダ危險ナヤウデアッテ、地方ニ不利ノヤウデアリマスアレドモ、サウ云フ事ハ又此度ノ工事に付キマシテハ、既ニ六大都市ノ中ニ非常ニ反對ガ起リマシタ、東京ノ爲ニソシナ金ヲ使フコトハ、後藤ガ市長ヲシタ爲ニ、熱ガ冷メナイノデ獨リ東京ニ入レルノダラウト云フヤウナ、詰ラナイ話モアルノデ、此處ニ御披露申スヤウナコトデモアリマセヌガ、サウ云フ言ヲ爲ス者モアリマス、併シ其言ノ暴ナルコトハ、六大都市ノ中、名古屋、大阪、神戸ノ如キハ、如何ニ繁榮ヲ來シタカト云フコトハ、事實上明カデアリマス、最初東京ガ焦土ニ歸スルト共ニ、名古屋、大阪、神戸モ打撃ヲ被ッテ、而シテ回復スルモノモ亦此等ノ都市ガ魁デアッタ、當時九州ヨリ北海道ニ至ル迄、損害ヲ被ラナイモノハナカッタデアリマス、其時ハ唯、同情々々ト云フノデ、物ヲ贈ラウト云フコトガ起ッタデアッタ、サウシテ此損害ノ關係ガ將來如何ナルモノニナルカハ考ヘ及バナカッタノデアリマス、又東京市民トシテモ、其邊ニ付テ何等考フ及ボスコトノ出来ナイ程ニ、一方ニハ絶望的ニ陥リ、私共モ一週間位ハ治安ノ維持ニ苦ンデ、腰ヲ抜カシテ通ゲルヤウニナリハシナイカト考ヘタコトハ幾度カ知ラヌヤウデアリマシタ、其間ニ於テ

帝都復興ノ事業ヲ計畫スルニ當テハ、有力ナル人々ガ如何ナル事ヲ言タカト云ヘバ、地方ノ金ヲ持ッテ來テ東京ニ入レルノハ不都合デアルト、恰モ此金ハ固定的ニ使フモノ・ヤウニ思ッテ、日本全國デ融通スルモノヲ、不健全ナラザル融通ヲ爲スニ於テハ、帝都復興ハ帝國全體ノ復興ニナリ、帝國全體ノ復興ニ資スベキ一大革新トナルベキ「ルネサンス」デアルト云フコトハ、少シモ考ヘナカッタ、斯ル病的思想ノ發スルヤ、之ヲ消滅セシムルニ困難ニシテ、今尙ホ其影響ヲ被ッテ居ル次第デアリマス、幸ニ御質問ガアリマシタカラ、政府ノ意ノ在ル所ト、此等ノ方針ヲ明白ニシテ、諸君ノ御監督ニ依テ、過ナキコトヲ期シタイト思フノデアリマス

○高橋委員長 モウ十二時ヲ過ギマシタカラ……

○八田委員 一寸此際モウ一言簡單ニ質問致シタイ

○高橋委員長 ソレハ午後二ナスタラドウデスカ

○八田委員 ソレデハ午後二致シマセウ

○高橋委員長 ソレデハ午前ノ會議ハ是デ閉デマシテ、午後ハ一時半ヨリ再び開會致シマス

午後零時二十一分休憩

午後一時三十九分開議

○高橋委員長 開會致シマス、八田君ノ繼續デスガ、マダ來マセヌカラ——津野田君

○津野田委員 私ハ第一條ニ付テ先刻非公式ニ伺ヒマシテ、略、分リマシタガ、ドウモ私ノ頭ガ惡イセイカ、本文ヲ見テハ、都市計畫法ヲ其儘此ニ適用

スルト云フコトハ見エヌノデアリマスガ、池田政
府委員ノ説明ニ依リマシテ、都市計畫法中東京及
横濱ニ關係アル條項ハ、悉ク此中ニ含有スルト云
フコトヲ承リマシタ、説明ニ依ッテ分リマシタガ、
此文面デハ一寸分リ兼ねマスガ、斯ウ書カナケレ
バイケナイト云フ何カ理由ガアリマスカ

○池田政府委員 格別ノ理由ガアル譯デアリマセ
ヌガ、「復興計畫」稱スルハ東京及横濱ニ於ケル都
市計畫ヲ謂フ「トアリマスガ故ニ、東京及横濱ニ於
ケル都市計畫ハ何デアアルカト云フコトハ、都市計
畫法デ分ッテ居ルノデアリマス、茲ニ都市計畫法ト
ノ間ニ聯絡ガ付キマシテ、復興計畫ハ都市計畫ト
ナリ、本法ニ所謂復興計畫事業ハ都市計畫事業ト
ナリ、復興計畫區域ト云フノハ都市計畫區域デア
ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、而シテ本法ノ中
ニハ、都市計畫法ノ準用スベキモノ、又都市計畫法
ニ對シテ特別ノ規定ヲ設クベキモノハ、之ヲ明記
シテ居リマス、此關係ニ於キマシテ、都市計畫法中
本法ニ別段ノ定アルモノ、並ニ都市計畫法ヲ準用
シタルモノ以外ノ法規ハ、悉ク此復興計畫法ニ適
用セラレルト云フコトニ相成ルノデアリマス

○津野田委員 更ニ御伺致シマスガ、此京濱運河
ノ事ニ付キマシテ、私ハ横濱ノ人カラ、横濱ハ之ヲ
人間ノ家ニ譬ヘテ見レバ左關デアアル、東京ハ座敷
デアアル、左關カラ座敷ニ這入ルノ適當ナル道ガ
無イコトハ、一家ニ取ッテモ不便デアアルガ、帝都復
興ニハ最モ不便デアルト云フコトヲ聞イテ居リマ
ス、又私自ラモ斯ノ如ク考ヘテ居リマスガ、本法ニ
ハ何等是等ノ事ヲ書イテアリマセヌガ、是ハ非公

式ニハ御伺ヒシテ略々了解シマシタケレドモ、公式
ニ十分ナル御説明ヲ仰ギタイ

○池田政府委員 只今申上ダマシタ如クニ、都市
計畫ト申シマスルモノガ復興計畫ト相成ル譯デア
リマスカラ、隨テ都市計畫法ノ第一條ニアリマス
ル「交通、衛生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安
寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ増進スル爲ノ重要施設ノ計
畫」デアッテ、市ノ區域内ニ於テ、又市ノ區域外ニ
互ッテ執行スベキモノガ都市計畫ト相成ル即チン
レガ、復興計畫デアリマス、此實質ヲ持ッテ居ル復
興計畫ナルモノハ、都市計畫法ノ第三條ノ規定ニ
依リマシテ、都市計畫委員會ノ議ヲ經テ、具體的ニ
確定スル譯デアリマス、而シテ其具體的ニ確定スル
場合ニ於キマシテ、只今御指摘ニナリマシタガ如
キ京濱運河ノ計畫ノ如キモノハ、是ハ帝都復興ノ
骨子トモナルベキモノデアラウト考ヘラレマス、
其「一ツデアラウト考ヘラレマス、自ラ此委員會ノ
議ヲ經テ其計畫ガ定マリ、又隨テ其事業ガ定マリ、
又執行スベキ年度割モ此規定ニ依ッテ定マッテ來
ル、斯様ニ御承知ヲ願ヒタイ

○津野田委員 其事ニ付キマシテ更ニ御伺致シマ
スガ、此法案中ニ只今ノ事ヲ挿入シテハ有害デア
リマスカ

○池田政府委員 敢テ有害トハ申シマセヌガ、重
複無用ダト考ヘマス

○津野田委員 第三條ニ「土地區劃整理施行地區
ニ編入スルコトヲ得」トアリマスガ、是ハ耕地整理
法ノ方ニ依リマス、御料地トカ色々ノ項目ヲ並
ベデアリマスガ、御伺致シタイ事ハ、宮城又ハ離宮

等モ此中ニ含有セラレテ居リマスカー——モウ少シ
詳シク申上ダマセウ、土地區劃整理ニ必要アレバ、
宮城ノ——畏多イ事デアリマスケレドモ、御移轉
ヲモ願ヒ奉ル御考デアリマスカ

○池田政府委員 此規定ハ耕地整理法ヲ參照シテ
御覽ヲ戴キマス、最モ明瞭スルト考ヘマス、即チ
只今御示シナリマシタヤウナ土地ハ、是ハ各々
其所管廳ト協議ヲスルニアラザレバ、此地區ニ編
入スルコトハ出來マセヌ

○津野田委員 第五條ニ換地豫定地ヲ指定シ
テ……

○高橋委員長 一寸御發言中デアリマスガ、今迄
ハ大體ノ質問デアリマシタガ、逐條ニ互ッテノ質問
モ同時ニ議題ニ供スルト認メテ宜シウゴザイマス
カ

〔同時デ宜シイデセウ〕ト呼フ者アリ

○高橋委員長 ソレデハ同時ニ議題ニ供スルモノ
ト御承知ヲ願ヒマス

○津野田委員 此「換地豫定地ヲ指定シテ」、此換
地豫定地ヲ指定サレタ者ガ満足シナイ時ハドウシ
マスカ

○池田政府委員 ソレハ耕地整理法ノ規定ガ、都
市計畫法ヲ適用又ハ準用シマス關係デ、此復興計
畫ニモ準用サレテ來ル譯デアリマス、隨ッテ耕地整
理法ノ第六條ノ規定ニ依リマシテ「土地所有者占
有者關係人其他ノ整理施行地ニ付キ權利ヲ有スル
モノハ耕地整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコト
ヲ得ス」ト云フコトニナッテ居リマスノデ、是ガ最
後ノ事ニ相成ルノデアリマス、整理委員會ノ議ヲ

經マシテ、其議ニ依リマシテ換地ガ定マリマスル
ト、ブレニ落着カナケレバナラヌコトニ相成ナル
譯デアリマス

○津野田委員 第六條ニ「土地區劃整理ノ施行ニ
因リ道路廣場運河」等ト云フコトガアリマスガ、豫
算ノ概要ヲ見マスルト、道路ハ十二間カラ三十間
ト云フコトニナッテ居リマス、然ルニ此間大藏大臣
ノ御引合ニ出シマシタ「巴里」ノ「ナボレオン」三世ノ
時代ノ土地整理デアリマスガ、此事ニ付キマシテ
佛蘭西人カラ聞キマシタ所ニ依ルト、十「メート
ル」以上ノ道路ヲ造ルト、商賣ガ繁昌シナクテ、却
テ衰微スルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此十二
間乃至三十間ト云フコトハ、何カラ御割出シニナ
タカ、ソレカラ次ニ廣場ト云フノハ、如何ナルモノ
ヲ此廣場ニ應ゼラレル御考デアリマスガ、ソレカ
ラ運河、運河ナルモノハ、是ハ航空機ニ對シマシテ
ハ、運河ト云フモノハ最も航空者ニ方向ヲ示スニ
易イト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、是ハ十分御
了察ニナッテ居リマスガ、伺ヒタイ

○池田政府委員 道路ハ交通上ノ必要ヲ按ジマシ
テ、其地域發展ノ狀況ヲ元トシテ、凡ソドノ位ノ交
通ガアルモノデアアルカト云フコトヲ基準ト致シマ
シテ、設備ヲ定メテ譯デアリマス、廣場、是ハ或ハ
交通ノ目的ノ爲ニ、或ハ是ガ一ノ小サナ公園ノ働
ヲ爲ス爲ニ、或ハ是ガ一ノ避難場トナルト云フヤ
ウナコトノ爲ニ、廣場ニ付キマシテ色々其設定ス
ル場所ニ依リマシテ、其模様ヲ異ニスルノデアリ
マス、或ハ自動車ノ「パーキング」トナルコトガア
リマス、是ハ色々十目的カラ決メタイ考デアリマ

ス、又運河ニ付キマシテハ、御話ノ如クニ、或ハ上
空カラ見レバ光ルモノデアアルカラ、敵ニ對シテ目
標ヲ與ヘ易イト云フコトハアルカモ知レマセヌ
ガ、此市民ノ實生活ニ對シテ、其利便ヲ増進シ、且
又此都市ガ商工業ノ都市デアアルト云フコトノ爲ニ
スル施設ト致シマシテハ、ドウシテモ是等ノ運河
ヲ開鑿若クハ新設或ハ改修セザルヲ得ナイノデア
リマス、或ハ國防ト云フヤウナ見地カラシマシテ、
色々御論議モアルト思ヒマスガ、ソレハ又他ニ是
等ノ非常ノ場合ニ處スル方法モアラウカト考ヘテ
居リマス

○高橋委員長 次ハ有馬秀雄君

○有馬委員 極メテ簡單ニ要點タケ申上ゲテ、内
務大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス、此帝都復興ト云フ事
ニ付テ、私共最も必要ナ事ト思ヒマスガ、ソレニ對
スル機關トシテ、餘リ多クノ機關ガアリ過ギヤシ
ナイカ、即チ審議會トカ、復興院トカ、其他東京市
モアレバ、東京府モアリ、其上ニ内務省モアル、斯
ウ云フ際ニハ、成ベク迅速ニ事業ノ進捗ヲ圖ルト
ニ云フコトガ、最も必要デアアル、即チ巧連ナランヨリ
ハ抽速ヲ尙ブ際デアアル、然ルニ徒ラニ——徒ラニ
ト申シテハ語弊ガアリマスガ、大變種々ナ機關ヲ
設ケラレタノハ如何デアアルカ、實際カラ論ジテ見
マスルト、仕事ヲスルニ付テモ、或ル事業ヲ計畫
シ、或ハ事件ヲ頼ムニモ、復興院ニ行ケバ、内務省
ノ所管デアアル、東京府ニ行ケバ、東京市ノ所管デア
アル、何レノ所ニ行ケバ、非常ニ仕事ノ遅レル憾ガ
アル、斯様ナ次第ニ於テ、非常ニ仕事ノ遅レル憾ガ
アルト考ヘル、幸ニシテ内務大臣ハ先頃迄ハ東京

市長トシテ、東京市ノ都市計畫、其他都市ノ事ニハ
非常ニ熟練アル、御方デアアルカラ、面ニ餘リ多
クノ機關ヲ設定サレズシテ、實際ノ仕事ノ迅速ナ
ルコトニ御努力アツタ方ガ宜クハアルマイカト思
フノデアリマス、御所見ヲ伺ヒマス、次ハ此火災ガ
アレバ、少シ區域ガ廣クアレバ、ソレニハ必ズ市區
改正、道路ノ整理ト云フ事ガ伴フモノデアアル、況ヤ
斯ノ如キ大火災ニ際シテハ、必ズヤ市區改正、道路
ノ整理ガ行ハレルコトヲ萬人ハ期待シ、必ズアル
ベキモノナリト豫期シテ居リマス、然ルガ故ニ折
角建築ニ取掛カラウト思ヒマシテモ、其大體ノ區
劃ガ定マリナイガ故ニ、建築ニモ掛カラナイ、已ム
ヲ得ズ、御案内ノ通り急設ナ「バラック」ニ依ッテ居
ル者ガ多イト思ヒマス、早く道路ノ大體ノ方針デ
モ御定マリニナクナラバ、モウ少シ良イ建築ガ、
今日ニ於テ既ニ出來テハ居リマスマイカ、之ニ對
スル御高見ヲ、其次ハ此燒跡ノ始末、申シ換ヘレバ
燒灰ノ處理デアリマス、第一ニ、先刻申上ゲマス道
路ノ區劃ガ定マツテ、而シテ燒灰ノ處理即チ取拂ガ
早く出來マスレバ、東京市民ノ如キ活氣アリ元氣
アル市民ハ、忽ニシテ建築ガ完成スルモノナリト
私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ大臣ナドハ自動
車デ御通りニナルノデ、御分リニナラヌカ知レマ
セヌガ、今日東京市ノ少シ裏ノ道ヘ這入リマス、
未ダ燒灰ヤ煉瓦ノ壞レガ澤山アリマシテ、今尙ホ
吾々通行スレバ、悲惨ナル感ジマスルノデアアル、勿
論此燒灰ノ處理ト云フコトハ、東京市ノ責任デア
ルカラト仰シヤルカモ分リマセヌガ、私ノ考デア
ル燒灰ノ處理ガ最も急ナルモノト信ズルガ故ニ、政

府ニ於テハ一億何千万圓ト云フ責任支出ヲセラルル位ノ御勇氣ヲ現ハサレル上カラシテ、東京市ノ事業ニ委セラレズシテ、此焼灰ノ處置ヲ最初ニサレテハ如何ト思フノデス、其次ニ伺ヒタイノハ、昨日土屋君カラモ述ベラレマシタガ、此焼跡ノ處置、主ニ郡部ニ互テノ事デアリマスルガ、土屋君ニ對セラレテノ御答辯ニ、大變遷レテ居リヤシナイト云フ御言葉ガアリマシタ、既ニ何モ無イノデ、是ダケスルヤウニナツタカラシテ大變宜イデヤナイカ、焼跡ノ復舊ト云フ事業デアレバ兎ニ角、苟モ帝都復興ト云フコトノ名義ヲ以テ進ミツ、アル次第デアリマスカラ、郡部ニ於テモ相當ノ施設ガアルモノト信ジ、且ツ期待シテ居リマス、郡民ハ——然ルニ既ニ規定サレテ居ル都市計畫ノ事業モ進捗サレズシテ、却テ遅レルト云フコトニナリマスカラシテ、非常ニ東京府下ノ者ハ失望シテ居ル次第ト思フ、從來ニ於テ、是モ土屋君ガ申シマシタガ、道路ハ郡部ニ於テ最モ狹隘ヲ感ジテ居ル、此大震災ニ際シテ、大多數ノ人ガ郡部ニ移ッテ居リマス、其爲ニ益、道路ノ狹隘ヲ感ジテ、朝夕ノ如キハ肩摩轂擊スルヤウナ状態ニ陥ッテ居リマス、デ、モウ少し焼跡ノ處分ヲ速ニ爲サル、ト同時ニ、所謂焼失區域外ノ事モ、モウ少し考慮サレル必要ハアリマスマイカト思フ、是ハ一面ニ於テハ、東京市ノ焼出サレタ者ヲ救済スルノ途ニモ叶フモノト思ヒマス、以上ノ點ニ於テ御意見ヲ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 組織ノ事ニ付テ御尋ガアリマシタガ、屋上屋ヲ重ナルト云フヤウナ輩語流言ヲ放ッテ結果トシテ、多大ノ誤解ヲ出シタルコト、恰モ鮮人加害ノ如クナツテ居リマス、然ルニ此事タルヤ、都市計畫局ガアルカラ、ソレデ宜カラウト言ッテ居ラレマスルガ、是迄ノ都市計畫ノ一局部ノ事ガ、ドノ位ノ日數ガ掛ッテ出來テ居ルカト云フコトヲ能ク御賢察下サルコトガ必要デアル、是ハ都市計畫ノ唯一筋ノ道ヲ拵ヘルノニサヘ、非常ナ日數ガ掛ッテ居ル、之ヲ統計シテ見マスルト、中々ノ長イ時間ガ掛ッテ居ルデアリマス、而シテソレハ時日ニモ限リガアル、其取調ニモ随分ノ日數ガ掛ッテ居リマス、此度ノ計畫ハ、從來ノヤウニ物件ニ因ハレテ居ッテ計畫スルノデハ思フ様ニ出來ナイダラウガ、焦土ト化シタカラ容易デアルト言ハレルガ、ソレト同時ニ當テ此所デ申シタヤウニ、現在ノ「サイアンス」ノ綜合的調査ヲ要スル譯デアリマシテ、只今モ御話ガアリマシタガ、國防上ノ關係、殊ニ飛行機ノ關係ト云フヤウナ譯デ、諸種ノ關係ガアリマス、ソレト同時ニ其一方ノ現在ノ科學的進歩ノ爲ニ生ズル危險ヲノミ考ヘテ行キマス、又實際生活ノ上ノ事ニモ關係ガアルデアリマシテ、是等ノ事ヲ綜合シナケレバイカヌデアリマシテ、詰リ評議員會ノヤウナモノガ必要ニナツテ來ルデアリマス、ソレカラ參與會ノ如キモノハ、之ハ各官衙ト交渉ヲ致シマスノニ、文書ノ往復ヲシテ居ッテハイカヌカラ、又院ノ計畫ニ參畫スル人ガ必要デアリマスカラ、是等ノ點カラモ參與會ガアッテ、始メテ此計畫ヲ全ウスルコトガ出來ルヤウナ譯デアリマシテ、要スルニ澤山ノ機關ガ出來タヤウナ譯デアリマスケレドモ、サウ云フモノデナイ、又經費ノ上ニ付テモ如何ナルモノデアルガト云フ

コトハ、當テ此所デモ申上デマシタガ、先ヅ一番能ク分ッテ居ルモノガ議院建築デアリマス、議院建築ノ事務費ト云フモノハ幾ラニナツテ居ルカ、諸君ノ御案内ノ通りデアラウト思ヒマス、然ルニ此計畫ハ議院建築ニ比シテ見レバ、二倍以上ノ數字ノ差ガアルト云フ事モ御承知ニナルデアリマセウ、是ハ現在計畫ニ於テ一新事實ヲ舉ゲルコトガ出來ルヤウニ思フデアリマス、隨テ無用ノ機關ヲ無暗ニ拵ヘルカラ事ガ運バント言ハレマスケレドモ、豫テ申上ルヤウニ、「ランファン」ノ計畫デモ「レーン」ノ計畫デモ、「バーナム」ノ計畫デモ、斯ノ如ク速ニヤツタコトハナイト申スコトハ、是ハ公言ヲ憚ラス、御承知ノ方モアリマセウガ、此計畫ガ是ダケニ出來タガ、日ノ費シヤウガ惡イ、之ヲ斯ウヤッテ行ケバ斯ウナツテ行ク、斯クスレバ宜イト云フコトガ出來ルカト云フコトデアレバ、出來ナイモノデアルト自ラ信ジテ居ルモノデ、私共ハ速ニ出來タト考ヘテ居ルデアアル、唯モソレガ爲ニ遺憾ナ事ノアルノハ免レナイ、之ヲドウカ議員ハ勿論、多クノ人ノ批評ニ依ッテ誤ナキコトヲ致シタイト云フコトヲ考ヘテ居ルデアリマスルガ、併ナガラ此計畫ガ屋上屋ヲ重ネタ機關ノ爲ニ、非常ニ長イ間ヲ費シタト云フコトハ決シテ無イト云フコトヲ私ハ證言致シマス、何トナレバ數多ノ機關ガ非常ナ長イ時間ヲ掛ケテ議事ニ反對シタト云フコトハ毫モアリマセヌ、唯モ當局者ガ不眠不休デ以テ此事業ニ從事シタル結果、成程ト云フヤウニ、多クノ人ノ賛成ヲ得ル程ニ、速ニ行カナカッタト云フコトノ責ハ、吾々決シテ免レヤウトハ思ハヌデアリマ

ステレドモ、各機關が如何ニ早ク之ヲ決議シテ吳レタカ、如何ニ信用ヲ置イテ吳レタカト云フコトニ付テハ、深ク感謝スル所デアリマス、彼ノ有名ナル法制審議會デアリマシテモ(笑聲起ル)二日ノ間ニ議決ヲサレタノデアリマス、而シテ其初ノ論法ヲ易ヘテ、而シテ此計畫ノ完全ナルコトヲ認メラレタト云フコトニ至ッテハ、深ク感謝致ス所デアリマス、斯様ナル次第デアリマシテ、此機關ノ重テ居リマス爲ニ、何等延滞シタト云フコトハナシ、唯計畫ヲ致ス爲ニ日數ヲ費シタト云フコトハアリマス、併ナガラ一本ノ道路ヲ造ルニモ、高速度鐵道トノ關係マデ考ヘ、而シテ之ヲ爲スニ至ッテハ、只今ノ如キ時日ヲ費スト云フコトハ、苟モ「サイエン」ノ大體ニ通ジテ居ル者ノ少シモ疑ハザル所デアルト私ハ思フ、而シテ燒跡ノ事ニ付テ御話ガアリマシタガ、御尤モデ、是ハ早クヤリタイコトハ山デアリマス、是ハ自治體ニ任ズル方ガ良カラウト云フ所カラ、自治體ニ任シタノデアリマス、併シ是ハ自治體ニ任セテ置イタ方ガ早カタカ、政府ガヤッタ方ガ早カタカ、ソレハ分リマセヌケレドモ、政府ノ方カラ見レバ早ク出來ルト言フ、自治體ノ方カラ言フト、自分ノヤッタ方ガ早イト言ヒマサルガ、兎ニ角市民ノ満足スルニ足ラナイ遲延ヲシタト云フコトハ明カデアアル、故ニ區劃整理ノ如キニ付テモ、自治體ニ委セルコトニ何等異議ハアリマセヌガ、併ナガラドウシテモ斯ウ云フ風ノ事ヲ急速ニヤルニハ、國ノ力デアル方ガ良イト云フコトヲ證明スルモノハ、燒跡ノ處置ニ依ッテ殷鑑遠カラザルモノガアルト云フコトハ、識者ノ認メル所

デアルト申シテ差支ナイト思フ、ソレカラ郡部ノ關係デアリマスガ、是ハ御同感デアリマス、併ナガラ是ハ燒跡ニ限ルト云フ範圍ヲ以テ此復興院ノ事業ヲ定メタノデ、其復興事業ノ一部ヲ割イテ而シテ此急速ヲ要スルコトヲ認メテ、郡部ノ事ニ及ンダト云フコトヲ申述べタ、ソレダケノコトデアリマシテ、決シテ是デ御満足ナサレナケレバナラヌト云フダケニハ思フテ居ラヌノデアリマスカラ、其等ノ事ハ宜シク御諒承ヲ願フテ置キタイ、ソレカラ狹路デ困ルト云フコトデアリマスガ、ソレハ郡部ノ希望ノミデハナクテ、又東京ノ希望デアリマス、故ニ街路ノ事ハ必要デアアル、復興ノ事ニ付テソレダケノ材料ヲ持ッテ居ッテモ、——此道路ノ計畫ニ付テモ困ルノデアリマス、ソレカラ燒跡ノ事ニ付テ色々ノ御説モアリマシタガ、之ニ付テハ御説ノ通り至極御尤デアリマス、ソコデ帝都復興ト云フ事ニ付テ、街路ヲ第一トシ、而シテ區劃整理ヲ急務トスル所以モソコニ在ルト云フコトヲ、有馬君カラモ御市シテ願ヒタイノデアリマス、其邊ノ御意見ニハ至極御同感デアリマス

○八田委員 私ハ此復興法案ヲ議スルニ當ッテ内務大臣ノ御誠意ノ在ル所ヲ承ッテ置キタイト思フコトハ、震災當時ニ於キマシテ我ガ國民ノ現ハシタル忠實敦厚ノ精神ト云フモノハ、帝都ノ震災後ニ於ケル人々ニ對シテ、非常ナル好影響ヲ與ヘタコトヲ私ハ深ク考ヘルノデアリマス、東京市ガ貯藏物食糧等全部烏有ニ歸シタニ拘ラズ、彼等ヲシテ飢エシメザル方法ヲ政府能ク茲ニ善處シタトハ申シマスルモノ、地方ノ人民ガ洵ニ熱キ同情

ノ涙ヲ以テ、職務ニ當ル者ハ職務ヲ執行シテ、豫期以上ニ早ク東京市ニ食糧等其ノ物資ヲ輸送シテ、彼等ヲシテ飢エシメザリシニ付テハ、吾々確ニ市民ハ其點ニ對シテ考ヲ致シテ居ルコトデアラウト信ジマス、此時ニ當ッテ彙ニハ御詔書ガ煥發ニナリ、サウシテ帝都ノ變リナキコトヲ御市シニナリ、次デ十一月ニ至ッテ人心甚シク險惡ニ流ル、コトヲ虞レラレ、質實剛健ノ氣風ヲ作興スベキ御詔書ヲ煥發セラレタルコトハ、豈ニ深ク恐懼ニ堪ヘザル次第デアリマス、職務ニ忠實ニシテ、國家ノ爲ニハ自分ノ身命財産ヲモ捧ゲルコトヲ意トシナイト云フ剛健ノ氣風ハ、地方ニ滿チ々々テ居ル、都市ニ於テハ動モスレバサウ云フ精神ガ軟弱デアリマスルガ、地方ニ於テハ作興シ得ベキ狀態ニアルト云フコトハ、震災當時ニ於テ現ハシタル沿道民ノ誠意ニ依ッテ、吾々ハ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、是ニ至ッテ大臣ハ先日ノ議場ニ於テ、小川平吉君等ヨリシテ思想問題ニ關聯シテ、動モスレバ人心ガ惡化セントスル、是ハ多クノ市街地デアリマスガ、此惡化セントスル思想ノアルコトヲ憂ヒテ居ルガ、サウ云フ思想ヲ懷ケル者ガ、幾分力大臣ノ保護ノ下ニ、彼等ガ何カ爲シ來ッタ所ノ事實ヲ捉ヘテ質問スルニ至ッテハ、容易ナラヌ事デアアル、宜シク大臣ハ演壇ニ立ッテ、全ク左様ナ事ハ寸毫モ身ニ覺ノナイ事デアルト云フ誠心ヲ披瀝シテ、國民ニ相見エラル、コトヲ私ハ望シテ居タ、然ルニソレニ對シテ大臣ノ御聲明ハ、甚シク不明瞭デアッタト云フコトハ、平素大臣ヲ知ル私トシテハ甚ダ殘念ニ感ズル、又豫算委員會ニ於テモ、國民ノ剛健ナル

氣風ヲ作與スベキ重キ任ニ在ラル、内務大臣トシテ、特ニ此點ニ對シテ十ナル御聲明ノアルコトヲ熱望シタノデアリマス、未ダ徹底的ニ御明言ハ無イノデアリマス、故ニ私ハ此際十分ナル御聲明ヲ聽イテ、而シテ後此復興案ノ審議ヲ致シタイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 只今精神作興ノ關係ニ於テ、内務大臣トシテ身上ニ係ル意見ノ發表ニ關シテ、何故ニ之ニ對シテ相當ノ辯明ヲシナイカト云フコトデアリマス、是ハ私ガ述べルヨリモ、總理大臣ハソレハ誤解デアル、自然ニ明カニナッテ來ルデアラウト一言ノ下ニ言ハレタ、之ニ何物ヲモ添ヘル必要ハ無イト認メル、ソレノミナラズ、ソレハ一二ノ人ガ一二ノ風説ニ惑ハサレ、色々ニ心理狀態ヲ攪亂サレタ人モアルカモ知レマセヌガ、私ガ敬愛スル所ノ諸君ノ多數ハ、斯ノ如キ事ニ攪亂セラハ、人ハ私ハ無イト確信致シテ居ルノデアリマス、何トナレバ先日モ申述ベマシタ通り、「ヨッフエ」招聘ノ如キニ付テモ、著シク誤解ガアツタ、其當時ノ政府モ亦誤解ヲ懷イタ位デアリマス、其來ルヤ因人ノ如クニシテ、其去ルヤ國賓トシテ去タノニ於テモ、明瞭ナル事實ガ茲ニ存シテ居ル、此處ニ於テハ御親切ナル御質問デ、是等ノ事ヲ特ニ申述ヘル機會ヲ與ヘテ下サツタカラ申シマスルガ、アノ神聖ナル議場ニ於テ之ヲ釋明スルノ必要アリヤ否ヤト云フコトニ至テハ、自ラ注意ヲ加フベキ所デアルト私ハ考ヘマシタ、是ハ意見ガ違フカモ知レヌガ、左様ニ考ヘマシタカラ、サウ云フ事ハ無用デアアル、總理大臣自ラ立ッテ此事ヲ明瞭ニ言ハレタノデア

リマス、其誤解デアツタリ、曲解デアツタリ、虛構デアツタリ、捏造デアツタリスルト云フコトノ證據ハ、近クハ大杉ニ與ヘタ旅費ハ何處カラ出タカト云フコトハ自然明瞭ニナッテ來タ、是ハ我ガ敬愛スル議員諸君ニ於テハ、其等ノ事ニハ決シテ感ウテ居ラレナカッタコトデアリマス、議員諸君ノ覺醒ノ爲ニ、彼ノ新聞ノ報道ハ與ヘナカッタカモ知レマセヌケレドモ、是ハ感ウテ居ル者ニハ有力ナルモノト信ズル、是ハ所謂水落チ石出ツ、茲ニ即チ態度ヲ明カニスルコトガ宜イト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、又水落チ石出ツル時ヲ待ツ程、是ハ不信用ノモノニアラズト確信シテ居ルノデアリマス、此誠意ヲ以テ私ハ邦家ニ盡スコトガ平生ノ所信デアルト云フコトヲ御諒承アラシコトヲ希望致シマス

○中島委員 私ハ政府委員ニ御同致シマス、此復興法ニ依ッテ帝都ノ復興ヲシナケレバナラヌ所ノ道路運河ノ如キモノニ付テハアリマスガ、過日來大臣若クハ政府委員カラ之ニ付テ御説明ガアリマシタ、所謂都市計畫ニ依ッテハ出來ナイ、此事業ノ進捗ヲ圖ルコトガ出來ナイト云フヤウナ大體ノ趣意デアルト思ハレル、唯々夫ダケノ理由デハ、私ト致シマシテハ特ニ此法律ヲ作テヤル必要ガ無クハナイカト思ヒマス、現ニ東京市ハ市自身ガヤリタイト云フ希望モアリマスガ、之ニ付キマシテハ、尙ホ他ニ相當ノ理由ガアリマスガ、又復興事業ノ大體ガ國費ニ依ルト云フノデ、是ハ政府ガヤツタ方ガ宜イト云フ簡單ナ御考デアリマスガ、サウ致シマスナラバ、市ノ自治體デアリマシテモ、無論監督權モアリマスシ、工事ノ進行ニ付テモ、相當ノ助力

ヲスルコトガ出來ルコトモ幾ラモアラウト思ヒマス、從來ノ都市計畫ノ關係モアリマスルシ、ソレヲ打切りマシテ、此際復興計畫法ニ依ッテ仕事ヲシナケレバナラヌト云フ特殊ノ理由ヲ、ドウカ御伺ヒシタイノデアリマス

○池田政府委員 大體今迄ニ御話申上ゲデアアルコト、信ジテ居ルノデアリマスガ、尙ホ此場合ニ答辯ヲ申上ゲタイト思ヒマス、大體東京ト横濱ニ付キマシテハ、都市計畫法ノ適用ニ依リマシテ都市計畫モ定マル、又都市計畫事業ノ一部ヲ執行シテ來タ譯デアリマス、隨テ其復興計畫ノ進捗法デアリマス、都市計畫法サヘ健全デアラバ、之ニ依ッテ帝都ノ復興ヲ策スルコトモ出來ルデアラウ、斯様ニ考ヘマスルコトハ、是ハ一應ノ自然ノ見解デアラウト察セラレマス、度々繰返シマスガ如クニ、出來ラバ都市ノ仕事ハ都市ノ自治デ行クノガ相當デアアル、成ヘク自治ヲ尊重シ、自治ニ依ッテ運用ヲセシメテ行クト云フコトガ、最も望マシイ事デ、ソレガ市制發布以來我國ノ大方針デアリマス、政府ノ方針トスル所モ、亦此ヲ出デ、居ラヌノデアリマス、唯々併ナガラ今日ノ如キ變時ニ處シマシテ、果シテ自治體ガ其法律上ノ權限トシ、又自治ノ權威トシテ誇テ居ル所ノモノヲ、自ラ執行スルコトガ出來ルカ、是ハ大ニ考慮ヲシナケレバナラヌコトデアラウト考ヘマス、先程ハ燒跡ノ始末ノ事ニ付キマシテ、總裁ヨリ一應ノ御話モアツタコトデアリマスガ、自治體トシマシテハ、最後ノ色ミノ後始末ノ爲ニ日モ是レ足ラザル有様デアリマス、直接ノ救護ノ事務ト雖モ、尙ホ未ダ臨時震災救護

局ト申シマスニ、殆ト國ノ機關ヲ舉ゲテノ活動ニ俟タナケレバ、震災ニ罹リマシタモノ、直接事業ノ救護事務スラモ出來ナイト云フヤウナ有様デアリマス、政府ノ努力、市ノ當局ノ努力、府ノ當局ノ努力、並ニ民間ニ於ケル非常ナル犧牲の精神ノ發揮ト相俟テ、眞ニ國家的ノ一大運動トナリマシテ、此大勢力ノ下ニ漸ク今日迄漕付テタノデアリマス、隨テ救助ヲ受ケテ居リマス者ノ數ノ如キモ、今日ニ於キマシテハ著シク減少致シマシタ、サリナガラ尙ホ東京ト横濱トデ以テ彼是十萬ト申ス救助者ガアルノデアリマス、宮城前ヲ初トシテ、公園ノ如キ所ト雖モ、今ハ「バラック」ノ占據スル所トナッテ居リマス、「バラック」ノ中ニ這入ッテ居リマスル所ノ數モ、非常ニ多數アルノデアリマス、又燒跡ノ中ニ僅カナ木片或ハ燒ケタ亞鉛ノ如キモノヲ材料トシテ、洵ニ見ルニ忍ビナイヤウナ有様ノ下ニ、雨露タモ凌グコトノ出來ナイヤウナ人ガ、尙ホ澤山アルト云フヤウナ譯デアリマス、アノヤウニ公共ノ手ニ依ッテ造リマシタ「バラック」以外ニ、箇人ノ手デ以テ僅ニ燒材料デ家ヲ形造リマシタモノ、中ニ這入ッテ居ル人ノ數モ可ナリ澤山デアリマス、五千人カラモアルト云フ有様デアリマス、斯様ナ次第デアリマスルガ故ニ、之ニ對シマシテ能ク救護ノ任務ヲ盡シマシテ、或ハ衣食ニ、或ハ疾病ノ救援ニ、色々ノ方面ニ於キマシテ事缺カナヤウニ致シ、少クトモ此寒キ時節ノ際ニ凍ヘルト云フコトナカラシムル爲ニ、此直接ノ救護ノ事務ト雖モ、尙ホ非常ニ繁多デアリマス、而モ之ニ對シマシテハ非常ナル努力ヲ要スル、尙ホ又臨時震災救護局

ト云フヤウナ、國家ノ行政組織ノ力ニ俟タナケレバナラヌト云フヤウナ有様デアリマス、其他此震災ヲ原因ト致シマシテ施設スベキ各般ノ社會的ノ施設、社會事業の施設ノ如キモノモ頗ル多イノデアリマス、加フルニ市ノ公共設備ハ、道路ト云ハズ、河川ト云ハズ、橋梁ト云ハズ、或ハ病院ト云ハズ、學校ト云ハズ、非常ニ澤山燒落チタノデアリマス、是等ノ復舊、是等ノ應急工事、斯様ナ事ノ爲ニモ非常ナル大キナ組織ヲ以テ努メナケレバ、其責任ヲ完ウスルコトガ出來ナイト云フヤウナ有様デアリマス、其他市ノ公共事務ト云フモノハ、此非常ノ場合ニ於テ非常ニ多クアリ、而モ亦非常ニムツカシイ事デアリマス、此事務ヲ良ク致シテ、最後ニ完成スルコト云フコトハ、是ハ容易ナラナイ事デアリマス、此容易ナラナイ仕事、之ヲ控ヘテ居リマシテ、更ニ他ノ大キナ仕事ヲ執行スルコト云フコトハ、是ハ中ニ言フコトガ出來ルダケデアッテ、行フコトノ出來ナイ事デアラウト考ヘマス、帝都ノ復興ヲ策セズト云フコトナラ則テ止ムノデアリマス、帝都ノ復興ヲ策シテ、此數年ノ間ニ此偉業ヲ完成シ、而シテ眞ニ帝都ノ復興ヲ完成シヤウト致シマスル爲ニハ、自ラ此非常ノ場合ニ非常ノ途ナケレバナラヌコトグラウト思ヒマス、先程モ申上ゲマシタ通り、或ハ淀川ノ下流ノ改良工事ノ如キ、全ク一ノ運河工事デアリマス、或ハ港灣ノ改良工事ノ如キ、是等ハ都市計畫ノ仕事ト何等輕重ノ別ノナキ仕事デアリマス、左様ナ一ツノ仕事ニ對シテモ、其地方ニ對シマシテ國ガ仕事ヲシテ居ルト云フヤウナ次第デアリマシテ、ソレ等ノ仕事ト比ベテ見

マシテ、先程モ申上ゲマシタガ如クニ、此數百方坪ニ互ル大ナル燒跡地ニ對シマシテ復興ノ計畫ヲ確立シテ、ソレヲ敏捷ニサウシテ誤リナシデ執行シマスルト云フ此大キナ計畫ハ、是ハ中ニ、一河川一港灣ノ比デハナイノデアリマス、河川法ノ如キニ於キマシテモ、工費ガ大キイ、或ハ工事ガムツカシイ、或ハ一定ノ計畫ニ基ク所ノ改良工事デアルト云フコトアレバ、ソレハ主務大臣ガ之ヲ執行スルト云フコトニナッテ居リマス、而シテ其通り實行シテ居ルノデアリマス、是等ハ或ハ性質ニ於キマシテハ、自治ノ侵害ト言ヘバ言ヘルカモ知レマセズ、併ナガラ一ノ地方ニ於テ其力ノ及バナイト云フヤウナコトデアアルナラバ、ソレハ國ノ仕事デアルト云フコトハ、多年帝國議會ノ内外ニ於テ認メ來ッタ所ノ事實デアリマス、正ニ東京市ノ今日ニ於テ、横濱市ノ今日ニ於テ、是ト同様非常ノ理由ガアルコトデアラウト考ヘマス、隨ッテ此復興ノ計畫ヲシテ萬遺算ナク、詔勅ニ仰セラレテ居リマスル如ク、籌畫經營萬遺算ナキヲ期スルト云フコトノ爲ニハ、政府自ラ其責任ノ重キニ任ジテ、國民ト共ニ議會ノ協賛ヲ經テ、此仕事ヲ國ノ事業トシテ執行スルト云フコトガ、必要ニナッテ來ルコト、考ヘルノデアリマス、隨テ今回此議會ノ召集ヲ見ルヤウニナッタコトデアラウト考ヘルノデアリマスルガ、既ニ國ニ於テ仕事ノ經營ノ本體トナルノデアルト云フコトニ相成リマスルト、其點ニ於テ都市計畫法ニ對シマシテハ、一ノ特別ノ途ヲ開クノ必要ヲ認メタノデアリマス、都市計畫ハ平時ニ處スルノ途ヲ與ヘタノデアリマスルガ故ニ、固ヨリ都市

計畫法ノ第五條ニ於キマシテハ、都市計畫事業ハ行政廳ニ於テ之ヲ執行スルコトニナリテ居リマス、併ナガラ其行政廳ハ、勅令ノ定ムル所ニ依テ執行スルノデアルト云フコトニナリテ居ル、而シテ勅令ニ於キマシテハ、第一ニ都市計畫事業ハ、其都市計畫法ノ適用ノ上ニ都市ヲ統轄スル行政廳ガ執行スルコトニナリテ居リマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申セバ、當該市廳ガ執行スルコトニナリテ居リマス、サウシテ其市ノ區域外ニ互リ、若クハ區域外ニ於テ執行スル所ノ仕事ニ付キマシテハ、其區域ノ其事業ニ屬スル公共團體ノ行政廳ガ之ヲ執行スルコトニナリテ居ル、例ヘバ環狀線ノ如キ、東京市ノ外ニ於テ郡部ニ行フ所ノ仕事デアルナラバ、ソレハ東京府知事ガ執行スルノデアル、又仕事ノ性質ニ依リマシテ、分割シテ實行スルコトガ困難デアル、又分ケテ執行スルノガ不利益デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ此執行スベキ行政廳ヲ、主務大臣ニ於テ適當ニ定メルヤウニナリテ居リマス、併ナガラ是等ノ平時ニ處スルノ途ニ於テモ、尙ホ且ツ國ノ行政官廳ガ執行スル場合ニ於テハ、是等ノ規定ヲ適用シナイト云フコトニナリテ居リマス、即チ都市計畫法ニ於テハ、其法規ノ附屬命令トシマシテ、國ノ行政官廳ニ於テモ、都市計畫事業ヲ或ル場合ニハ執行スルコトニナリテ居リマス、此ノ點ニ於テハ、河川法ノ第七條ノ如キ規定ト其精神ヲ同ジウシテ居ル譯デアリマス、又實際トモ適合シテ居ル譯デアリマス、併シ其様ニ規定ハシテアリマスルガ、大體ガ都市計畫法ハ平時ニ於ケル

都市計畫ヲ執行スル規定デアリマスルガ故ニ、大本カラ見マスレバ行政官廳ガ事業執行者トナルト云フ主義デ立法サレテ居ルノデアリマス、隨テ原則トシテ國ノ行政官廳ガ執行ニ任ズルコトニナリテ居ル、如キモノニ對シテ、適當ナル準據法ヲ與ヘテ居ラスノデアリマス、是ガ都市計畫法アルニ拘ラズ、帝都復興計畫法ヲ必要ト認メマスル第一ノ點デアリマス、第二ハ中島君モ仰セラレタ如クニ、費用負擔ニ關スル點デアリマス、既ニ國ノ行政官廳ニ於テ仕事ヲ執行スルコトニナリマスルト、都市計畫法ノ定ムル所ニ依リマスレバ、國ノ行政官廳ニ於テ執行スルモノニ對シマシテハ、其費用ハ國ガ負擔スルコトニナリテ居リマス、此場合ニ於キマシテ、國ガ全部負擔スルコトモ無論適當ナルコトダト考ヘマス、併シ此仕事ノ如キハ、國ハ大ナル利害關係ヲ持テ居ルノミナラズ、其事業自體公共團體ノ利害ヲ感ズル所ノ仕事デアリマス、或ハ性質論カラスルナラバ、是ハ自治ノ事務デアルト云フコトニ迄主張スベキ仕事デアリマス、東京市橫濱市ガ復興ノ曉ニ於キマシテハ、相當ニ負擔ノ力ガ出テ來ルコトハ申迄モナイコトデアリマス、而シテ今日執行スル所ノ仕事ハ、何レモ現在ニ善處スルノミナラズ、將來ノ發展ニ備フルノ道デアリマス、然ラバ此仕事ニ對シマシテ、公共團體ガ相當ニ其負擔ノ分ニ任ズル上云フコトハ、是ハ固ヨリ當然ノ理法デアラウト考ヘマス、斯様ナル事ニ對シマシテハ、之ヲ法ノ上ニ於テ明記スルノ必要ガアラウカト考ヘマス、即チ帝都復興計畫法ニ於キマシテハ、第二條ノ規定ニ於キマシテ、行政官

廳ガ復興計畫事業ヲ執行スル場合ニ於キマシテハ、勅令ノ定ムル所ニ依テ、關係公共團體ニ依テ其費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトニナリテ居ルデアリマス、又事業ノ執行方法ニ於キマシテ、都市計畫法ニ於キマシテハ、主トシテ土地收用法ノ適用ニ依ッテ、公共ノ利益トナルベキ事業ノ執行ニ任ズルコトニナリテ居リマス、併ナガラ今回ノ計畫ハ、復興計畫ヲ基礎トシテ、其計畫ノ實現ヲ土地區劃整理ノ方法ニ依ッテ行ハントスルノデアリマス、然ルニ土地區劃整理ノ事ハ、都市計畫法ノ規定ニ依リマスルト、公共團體ニ於テモ之ヲ執行シ得ル途ヲ開カレテ居ラスノデアリマセヌ、即チ都市計畫法ノ第十三條ノ第二項ニ依リマシテ、公共團體亦土地區劃整理ヲ行フ途ヲ開イテ居リマス、併シソレハ耕地整理組合同ジヤウナ組合ガ設ケラレ、或ハ單獨ニ於テ、或ハ共同シ、或ハ組合ヲ設ケマシテ、區劃整理ノ仕事ヲ執行セントスル時ニ於キマシテ、都市計畫ヲ以テ其地劃計畫ヲ定メテ、サウシテ設計ヲ圖リタイト云フ爲ニ、其設計ニ對シテ一年間著手スル者ガナイ時分ニ於テ、始メテ公共團體ガ其仕事ヲ執行スルコトガ出來ルト云フコトニ相成テ居ルノデアリマス、平時ニ於キマシテハ、或ハ斯様ナ途デ進デ行クノガ順當デアラウカト考ヘマス、自治權ヲ尊重スルト同ジ意味ニ於キマシテ、自ラ利害ヲ感ズル所ノ土地所有者ハ、自ラ進デ仕事ヲ行クコトニナリテ居ルコトガ本體デアル、公共團體ノ如キモノガ其處ニ干與スルコトニナリテ居ルハ、非常ノ場合ニ過ギナイノデアリマス、非常ノ場合ニ於テノミ認ムルコトデアラ

ウト考へマス、随テ一年モ設計通りニ執行スル者ナキ時分ニ於テハ、公共團體ハ棄テ、置ケナイカラ、公共團體ヲシテ特ニサセルト云フコトハ、平時ニ於キマシテハ至當ノ立前デアラウト考へマス、サリナガラ今回ノ如キ此變災ニ直面致シマシテ、設計ヲ定メテ、一年モ便々トシテ抛ッテ置ク譯ニ行カヌト考へマス、速ニ設計ヲ立ッテ、速ニ之ヲ意ノ如クニ執行シテ行クト云フコトガ、公共ノ安寧ヲ維持シ、福利ヲ増進スル所以デアルト考へマス、又其爲ニ最も必要ノ事デアラウト考へマス、随テ此様ナ場合ニ於キマシテ、區劃整理ノ仕事ヲ都市計畫ニ從ッテ遂行シヤウト思ヒマスル時分ニハ、ドウシテモ特別ノ計畫ナカルベカラズデアリマス、而モ今回ノ計畫ハ、全ク土地區劃整理計畫ヲ以テ其中核トシテ居ル譯デアリマス、之ニ依ッテ帝都復興ヲ圖ラントスルモノデアリマス、此點ニ於キマシテハ、特別ノ規定ヲセザルヲ得ナイ譯デアリマシテ、第三條以下ニ九條ニ互リマシテ、區劃整理ノミニ付テノ規定ヲ網羅シマシテ都市計畫法ノ缺ヲ補ヒマシタノハ其爲デアリマス、而シテ今迄ノ如クニ街路ノ擴張ヲスルニ當ッテ、土地收用法ヲ適用シテ仕事ノ執行ヲシテ行クト云フ代リニ、土地區劃整理ニ依ッテ、行政的ノ土地區劃整理ノ執行ニ依ッテ、街路ノ計畫ノ上迄モ、之ヲ實行シヤウトシテ居ル譯デアリマス、ソレニ照應シマスル爲ニ、是等ノ規定ガ必要デアル譯デアリマス尤モ都市計畫法ニ依リマスレバ、土地ノ區劃整理ヲ施行スルニ付キマシテモ、耕地整理法ノ規定ヲ準用シテ居ル、然ルニ此耕地整理法ノ規定ヲ準用致シマシテ、今回ノ

土地區劃整理ノ仕事ニ適應シヤウトシマス、色ノ點ニ於テ支障ヲ生ズルノデアリマス、一例ヲ申シマスレバ、土地區劃整理ヲ施行シマスル所ハ、何レモ市街地デアアル、宅地ノアル市街地デアアル、然ルニ耕地整理法ニ依リマスル、宅地ノ場合ニハ其整理施行地區ノ中ニ編入スルコトガ出來ナイノデアリマス、一々宅地所有者ニ對シテ同意ヲ求メナケレバナラヌ、耕地整理ノ如ク宅地ハ例外デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其宅地ノ關係ニ於テ同意ヲ求ムルコトモ至難ナ事デハナイト考へマス、サリナガラ全部宅地デアルニ拘ラズ、一其承諾ヲ求メルニ非ザレバ、整理施行地區ノ中ニモ編入スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタナラバ、此非常ノ場合ニ速ニ善處スルコトハ出來ヌノデアリマス、又換地處分ヲスルニシテモ、耕地整理法ノ定ムル所ニ依リマスレバ、一切ノ工事ガ完了シテカラデナケレバ換地ガ出來ヌコトニナッテ居ル、若モ市街宅地ニ於テ、而モ現ニ復興ノ氣ノ漲ッテ居ル此市街宅地ニ於テ、一切ノ工事ヲ完了シテカラデナケレバ換地ガ出來ナイト云フコトデアリマシテハ、市民ヲ安定セシメルコトガ出來マセヌ、住居ノ安定ヲ得ルコトガ出來マセヌ、換地ノ豫定地ヲ指定シテ、其所ニ家ヲ引越サセルト云フコトモ出來ヌノデアリマス、區劃整理ノ仕事ハ、全ク何所カニ一ツノ故障ガアリマシタナラバ、其故障ガ最後デ、一切ノ活動ガ止ッテシマフノデアリマス、總テ滑カニ運ンデ、始めテ此區劃整理ノ仕事ヲ能クスルコトガ出來ルノデアリマス、一寸一箇所ニ停電ヲスレバ、ソレデ區劃整理ノ仕事ハ全ク進

メルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニ相成ルノデアリマシア、換地處分ノ如キモ、假令工事ガ全部完了セズトモ之ヲ爲シテ、豫定地ヲ早く示シテ、其處ニ移ッテ行クヤウニシナケレバナラヌ譯デアリマス、是等ノ事ニ付キマシテハ、ドウシテモ特別ノ法規ナカルベカラザル次第デアリマス、又耕地整理法ニ於キマシテハ、宅地ト云フヤウナモノハ例外デアリマスルガ故ニ、借地權者ノ如キモノニ對シマシテハ、適當ナル保護ノ規定ヲ缺イテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ハ借地權ガ非常ニ澤山糾合シテ居ル、一筆ノ土地ノ上ニモ區劃整理ノ仕事ヲ施行シヤウト云フノデアリマス、隨テドウ致シマシテモ、借地法ニ申シマスル借地權者ノ如キモノ、保護ニ關スル規定ヲ設ケテ運用スルコトガ絕對ニ必要デアリマス、斯様ナ事ハ都市計畫法ノ運用ノミヲ以テシテハ出來ヌ事デアリマス、ドウシテモ特別ヲ設ケマシテ此間ノ調和ヲ圖リ、私權ノ尊重ヲ致スコトガ絕對ニ必要デアルト考へマス、第四條ニ於キマシテ都市計畫ノ整理委員會ヲ設ケルコトニシテアリマスガ、此中ニハ土地所有者ノ外ニ借地法ニ謂フ借地權者ヲ含マシテ居ルヤウナコトハ是ガ爲デアリマス、其外第五條以下ニ於キマシテ、段々ニ規定ヲ設ケテ居ル譯デアリマスガ、是等ハ何レモ都市計畫法ヲ適用スルガ爲ニ、耕地整理法ノ準用ガアッタケデハ、耕地整理ト違ッテ、宅地整理、殊ニ此ヤウナ非常ナ場合ニ處スベキ方法トシテハ、其途ガ開イテナイト云フ所ニ對シマシテ、必要ノ規定ヲ設ケテ居ル譯デアリマシテ、是等ハ一々辯明ヲ申上ゲルコトモ要ラヌカト考へマ

ス、唯、一番問題ニナリマス點ハ、恐ラク第七條ノ規定ヲラウト思ヒマス、耕地整理法ニ依リマスレバ、耕地整理ヲ施行シタ爲ニ、道路ナリ、堤塘ナリ、溝渠ナリ、左様ナモノガ出來マス時分ニハ、全部國有地ニ編入スルコトニ相成テ居リマス、若モ今回ノ區劃整理ニ對シマシテ、都市計畫法ノ適用ニ止メテ置キマスルナラバ、今回ノ街路ノ如キ、全部無償デ國有地ニナルト云フコトニ相成リマス、是等ハ其儘ニ適用セラレマスルナラバ、公共團體ノ財政、國ノ財政、サウ云フ方面カラ申セバ適當カモ存ジマセヌ、望ムベキ所デアルカモ存ジマセヌ、サリナガラ市街宅地、殊ニ今回ノ東京ナリ、横濱ナリノ市街宅地ハ、何レモ相當重要ナル價格ヲ持テ居ル土地デアルコトハ、夙ニ御承知ノ通りノ次第デアリマス、又先程モ色々御話ガアツタコトデアリマス、ソレヲ都市計畫法ノ運用ニ俟ツコトノ然ルベカラザルコトハ、十分ニ御了解ノコト、存ジマス、是等ノ規定アルニ依リマシテ、始メテ公益ト私益トノ調和ガ出來ルコトデアラウト考ヘマス、其外補償審査會ノ規定ノ如キモアル譯デアリマスガ、是等ハ何レモ今ノヤウナ原則ヲ認メルガ爲ニ必要トナシテ來マシタ私權ノ保護ニ關スル規定デアリマス、何レモ都市計畫法ノ運用ヲ以テシテハ、能クスルコトノ出來ナイ事デアリマス、是等ガ即チ事業ノ執行ノ點ニ於テ、又其費用負擔ノ點ニ於テ、又是等ノ仕事ヲ執行スル方法ニ於キマシテ、私權ノ保護ノ爲ニ必要缺クベカラザル立法デアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウゾ宜シク御諒解ヲ願ヒマス

○中島委員 只今政府委員ヨリ御答ガゴザイマシタガ、要スルニ此復興計畫法ハ、大體ニ於テ都市計畫法ヲ適用スルノガ一ツト、其次ハ區劃整理ノ條項ガ一ツ、ソレカラ土地收用審査會ノ代リニ補償審査會ヲ設ケラレタモノト看做スノデアリマス、ソコデ只今池田政府委員ヨリ詳細ニ互ル御説明ガアリマシタガ、其大部分ハ土地區劃整理ノ問題デアリマス、是ハ都市計畫法及耕地整理法ニ規定セラレテ居ルモノハ不備デアルカラ、更ニ茲ニ一ツノ條項ヲ作シ、タノデアルト云フ風ニ私共考ヘラレルノデアリマス、サウ致シマスルト、大災ニ際シテ東京横濱ニ限ッテ或ル特例ヲ開イテモ差支ナイデハナイカ、必ズシモ復興計畫ヲ爲ス必要ハ無イト思ヒマス、然シ是ハ大分見解ノ相違ニナリマスカラ此程度ニ止メテ置キマス、ソレカラ只今御説明ノ要點ハ、此變事ニ處シテ市中ノ事務ガ多端デアルカラ、復興事業ハヤレナイト云フコト、モウ一點ハ國費ノ關係上、國家ガヤツタ方ガ良イト云フ二點ト、私共ハ考ヘルノデアリマス、此點モ所謂私共ノ觀ル所ト、政府當局ノ御覽ニナル所ト違フノデアリマスカラ、是モ此以上ハ議論ニ互ルヤウデアリマスカラ、此程度ニシテ置キマス、唯、昨日土屋代議士ノ質問ニ對シテ、内務大臣ハ東京府市ノ環狀路線ノ遅レタト云フコトヲ、東京府市ニ復興事業ヲヤラセルコトハ困難デアルト云フコトノ例モ舉ゲラレタヤウデアリマス、私共東京府ノ施設トシテ環狀線ニ向ッテ、遅レテ居ルトハ考ヘテ居リマセヌ、アノ工事ハ都市計畫委員會デ決議ニナリマシテ、内務大臣ノ許可ヲ得マシタノガ、昨年ノ三月

月末デアリマス、其後一箇年ニ於テ、宛ニ角四百五十萬圓バカリノ工事ヲ致シタノデアリマス、内務大臣ハ唯、大正十年十一月ノ豫算ニ現レテ居ル金額ヲ御覽ニナシテ、遅延シテ居ルト云フ例ニ舉ゲラレタノデアアル、此點ハ私ハ府市ノ工事ノ遅レタト云フコトノ例ニハナラヌト思フノデアリマス——尙ホ御伺ヒシタイノハ、過日來國防ノ關係カラ、空軍ニ對スル防禦ノ問題ガ大分質問ガ出タヤウデアリマスガ、之ニ付テ復興事業ニ重大ナル關係ガアラウト思フノハ、東京市ノ電燈事業ノ統一デアラウト思フ、是ハ夜間ノ襲撃ニ對スル場合ノ如キハ、非常ニ危險ナ状態ニアルト云フコトヲ私ハ聞クノデアリマス、今回ノ復興計畫ニ對シテハ、電燈問題ノ如キハ如何ニ御考ニナッテ居リマスルカ、此點ヲ御伺ヒシタイ、モウ一ツハ、現在ノ東京市ノ道路ニ通行シテ居ルモノヲ見ルト、速力ノ程度ガ非常ニ違フノデアリマス、如何ニ復興計畫ニ依ッテ道路ヲ擴築致シマシタ所ガ、之ヲ通行スル所ノモノガ或ハ非常ニ速力ヲ有スルモノト、全ク遅々トシテ居ルモノガアルノデアリマス、先程池田政府委員ヨリ車輛ガ幾臺列ブト云フヤウナ御話ガアツタヤウデアリマスガ、私ハサウ云フ事デ道路ノ幅員ヲ定メルコトハ如何デアラウカト思フノデアリマス、此點ニ付テ速力ノ關係デ道路ヲ造ルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマスカ、此點モ御伺シテ置キタイ

○池田政府委員 初ニ御話ニナリマシタ二三ノ點ハ、御質問デハナカッタヤウデアリマスカラ、ソレニ付テハ御答致シマセヌ、唯、内務大臣ガ府市ノ

事業ノ遅レル例トシテ、環狀道路ノ事ヲ引カレタ
ト云フコトデアリマスガ、此儘ニシテ置ケバ遅レ
ルト云フコトヲ心配サレテ、今回ノ計畫ヲ定カマ
レタト云フ譯デ、今迄ノ仕事ガ遅クナッタト云フコ
トヲ御話ニナツタ譯デハナイノデアリマスカラ、ソ
レダケハ申上ゲテ置キマス、ソレカラ電燈ノ統一
問題、是ハ電氣行政ニ關スル問題デアリマシテ、復
興院ノミデ御話ヲ申上ゲル譯ニハ行クマイと思ヒ
マス、是等ノ點ハソレノ主務官廳ガアルコトデ
アリマスカラ、其主務官廳ト能ク相談ヲ致シテ、適
當ナル方策ヲ執ルヤウニシタイト考ヘテ居リマ
ス、又道路ノ點ニ付テ、速力ヲ異ニシテ居ルモノニ
對シテ、別ノ路線ヲ設定スルト云フヤウナ事ニ付
テノ御意見ニ基テ御質問ガアリマシタガ、無論通
路ノ性質ニ依リマシテ、其地形ノ狀況ニ依リマシ
テ、或ハ荷車ノミニ使ハセルヤウナ路線ヲ指定ス
ルコトモアラウト思ヒマス、又自動車ノ如キ高速
度ノモノヲ通行セシムル路線ヲ指定スルコトモア
ラウト思ヒマス、是等ハ一ノ交通警察上ノ取締ノ
問題デアリマシテ、道路計畫ノ問題トハ離レタ問
題デナイカト考ヘマス

○中島委員 モウ一點伺ヒマス、從來東京地方都
市計畫委員會決定セラレタル各種ノ計畫、是ハ
過日内務大臣カラハ、或ハ變更サレルカモ知レヌ
ト云フ御話デアリマシタガ、其點ヲ御伺ヒスルノ
デハナイ、此復興事業トノ關係ガドウナルカ、其等
ノ都市計畫ノ事業ハ、復興事業ガ終タ後デナケレ
バ著手シナイノデアルカ、モウ一ツハ復興事業ノ施
行中ハ、其他ノ都市計畫事業ニ對シテ、ドウ云フ御

考ヲ持ッテ居ラル、ノデアルカ、ヤラヌノデア
カ、直グヤルノデアルカ、其期間ハ既定計畫ヲ御打
切リニナルノデアルカ

○池田政府委員 復興計畫法成立ノ曉ニハ、現在
ノ都市計畫ガ復興計畫トナリ、現在ノ都市計畫事
業ガ復興事業トナルト云フコトニ付テハ、再三申
上ゲタ通りデ、隨テ都市計畫デ以テ既定ノモノハ
之ヲ實行シナケレバナラヌト云フコトニ相成ッテ
居ルノデアリマス、唯、是ハ民度國富等ニ依ッテ財
政ノ計畫ニ伴ヒ、適當ニ之ヲヤルコトニ御承知ヲ
願ヒタイ

○淺賀委員 私ハ先ツ質問ノ第一點ト致シマシ
テ、此復興計畫法ノ第四條ニ付キマシテ伺ヒマス、
之ニ依リマス「前條第一項ノ土地區劃整理ヲ施
行スル場合ニ於テハ設計、換地處分及第七條第一
項ノ補償金ノ配當ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所
ニ依リ土地所有者及借地法ニ謂フ借地權者ヲ以テ
組織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定
ム」即チ土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞イテ、而シ
テ設計、換地處分、或ハ補償金ノ配當ヲ定ムルト云
フコトデアリマスガ、此土地所有者ト、利害關係ヲ
異ニスル所ノ土地權者、又ハ借地權者トノ組織ス
ル此整理委員會ニ於テ、若シ意見ノ相違ヲ來シタ
場合ハ如何デアルカ、即チ言換ヘレバ、燒跡ニ於ケ
ル土地所有者ハ、昨日ノ政府委員ノ御答辯ニ依リ
マスト約一万四千五百人、其土地ノ上ニ利害關係
ヲ持ッ借地權者ハ約十五萬人ト云フコトデアリマ
ス、而シテ此土地區劃整理ノ區域ノ數ハ、帝都復興
豫算概計表ニ依レバ、百二十乃至百八十ノ區域ニ

分ケテ居ルノデアリマス、此多數ノ區域ニ於テ、而
カモ利害ヲ異ニスル土地所有者ト借地權者トガ、土
地區劃整理委員會ニ於テ意見ヲ異ニシ、多數ノ借
地權者ガ、少數ノ土地所有者權者ヲ壓迫スルガ如キ
不公平ナル會議ノ結果ヲ得タナラバ、之ヲ如何ニ
處スルカ、此點ハ實際ニ於テ生ジテ來ル問題デハ
ナカラウカト思フノデアリマス、ソレ故ニ此點ニ
關スル當局ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思フノデ
アリマス、ソレカラ第二ハ、第五條ノ第一項ノ規定
中ニ、建物其他ノ工作物ノ所有者ニ對シ、移轉豫告
期間ヲ定メテ居リマス、即チ三箇月ノ期日前ト云
フコトニ關シマシテモ、昨日デアリマシタカ、一昨
日デアリマシタカ、池田政府委員ヨリ色々御説明
ガアリマシタ、併シ假令「バラック」デアッテモ、單ニ
住居トシテ居ル「バラック」モアル、又店舖トシテ居
ル「バラック」モアリマスガ、特ニ吾々ノ考慮ヲ拂フ
ベキ點ハ、工場ノ如キハドウデアアルカト云フコト
デアリマス、少クモ三箇月ノ前ト云フ最小限度ノ
此規定ハ、實際ノ場合ニ於キマシテ、工場或ハ商
店、或ハ單純ナル住居ニ對シテ、相當ナル斟酌ヲ加
フベキ御考デアリマスカ否カ、此點ヲ第二ニ承リ
タイ、其第五條ノ第二項ノ規定中「其通常受クヘキ
損害」ト云フコトデアリマス、此點ニ關シマシテ
ハ、高木代議士ヨリ御質問ナサレ、池田政府委員ヨ
リ此移轉料ノ如キハ特ニ狹義ニ解釋スルト云フ答
辯デアリマシタガ、近頃社會ニ於キマシテ最も問
題トナルノハ此點デアリマス、故ニ此復興計畫法
案ヲ審議スルニ當リマシテ、此土地所有者又ハ占
有者ニ對シテ、吾々ガ考慮ヲ拂フベキ點ハ此點ト

思ヒマス、故ニ狹義ニ解釋スルト云フ程度トハ、ドウ云フモノデアリマスカ、此點モ併セテ御伺ヒ申シテ置キタイト思ヒマス

○池田政府委員 土地區劃整理委員會ノ組織ハ、勅令決定メル見込デアリマス、而シテハ土地所有者並ニ借地權者ニ付キマシテ、各、選舉ヲ致サセマシテ、土地所有者ト借地權者ト云フモノハ、整理委員會ニ於キマシテハ正半ニナッテ、各、利益ヲ代表スルコトガ出來ルヤウニシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ニ於テ工場等ニ付テノ御心配ガアリマシタガ、是モ先日私ヨリ申シマシタガ如クニ、斯様ナルモノニ對シマシテハ、成ベク其地位ニ於テ換地ヲ受ケルコトガ出來ルヤウニシタイト云フ考デ居リマス、隨テ此規定ノ適用ヲ受ケマスルモノハ、殆ド住宅用ノ「バラック」ノ如キモノデアラウト思ヒマス、幾ラカ店舗ノ如キモノモアラウト思ヒマスケレドモ、是ハ大シタモノデハナイト考ヘマス、是ハ設計上ニ於キマシテ十分ニ考慮ヲ用フル積リデ居リマス、ソレカラ通常受クベキ損害ハ狹義ニ解スルト云フコトヲ申上デマシタガ爲ニ、其程度如何ト云フ御質問デゴザイマシタガ、是ハ大體只今申シマシタガ如キ換地處分ノ方法ヲ執リマスガ故ニ、自ラ其通常受クベキ損害モ極メテ局限サルベキモノト考ヘテ居リマス、大體ニ於キマシテハ建物其他ノ工作物ノ移轉ニ要スル費用、ソレカラ色々ノ造作ナドノ取壊シナリ、運搬ニ要スル費用、又移轉シマスルガ爲ニ、或ハ間口ヲ狹バメナケレバナラヌトカ、或ハ造作ニ變更ヲ加ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトガアラウト思ヒ

マス、サウ云フヤウナモノニ依ッテ生ズル損失ヲ補フヤウナ點ニ於テ、通常受クベキ損害ナリト看做シテ、之ヲ補償シヤウト云フ積リデアリマス

○淺賀委員 只今私が質問セル此第三點ノ所謂通常受クベキ損害ニ付キマシテ、只今御答辯ガアリマシタガ、然ラバ其中ニハ營業權ノ保護ノ如キハ、矢張從來ノ通り御認めニナラヌト云フ積リデアリマスカ、併セテ何ッテ置キマス

○池田政府委員 先ニ申上デマスヤウナ、換地處分ノ方法ヲ執リマスガ故ニ、御心配ニナッテ居ルヤウナ事ハ、起ッテ來ナイト考ヘテ居リマス

○高橋委員長 其次ハ多木君デアリマスガ……

○伊坂委員 一寸其問題ニ付テマス、此通常受クベキ損害デアリマスガ、店舗ト雖モ移轉ノ爲ニ損害ヲ受ケタルトキノ此損害補償ナドハ、例ヘバ店舗ガ移轉ヲシナケレバナラヌ、此店舗ガ休業スルト云フヤウナコトニナリマスルト、自ラ損害ト云フモノガ生ジマス、是等ニ對シテ補償ハ從來ヤッテ居ルヤウニ存ジマスガ、左様ナ事ハ御認めニナラヌデアリマスカ

○池田政府委員 度々申シマスガ如ク、換地ノ方法ヲ執ルノデアリマスルシ、殊ニ又三箇月前カラ豫告ヲスルト云フヤウナコトニナッテモ居リマスカラ、適用ニナリマスノハ、只今モ申シマシタガ如ク、住宅用ノ「バラック」ガ主ナモノデアラウト思ッテ居リマス、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、御心配ニナルヤウナ事ハナイカト考ヘテ居リマス、或ハ數日間ノ休業ヲ要スルコトモアルカモ知レマセヌガ、其位ノ事ハ忍ンデ貰フベキデハナイカト思ヒ

マス

○高木委員 私昨日池田政府委員ヨリ承ンタガ、今ノ御答辯ノヤウナモノデヤナイト何ッテ居リマス、通常受クル損害ト云フモノハ、營業權ノ中ニ包含シテ居ルト云フコトハ、殆ド内務省ノ方デハ定義ニナッテ居ル、現ニ昨年春土地收用法ノ立案ニ當ッテ、當時ノ土木局長ハ明ニ此事ヲ言明シテ居ル、尙ホ私が昨日承ハリマシタノハ、從來内務省ノ地方ニ於ケル土木出張所ノ官吏ガ如何ニモ其常識ガ低級——ト言ッテハ惡イカモ知レマセヌガ、實際ニ於テ動モスレバ此點ニ付テ殆ド常識上ノ判斷ヲシテ居ラス、全ク意味ノナイ判斷ヲシテ居ル、全ク補償ヲシナイ、成程池田政府委員ノ言ハレル通り、換地處分ヲスル場合ニ於テハ、斯ヤウナ事ハ起リマスマイガ、澁谷町ニ居ッタ者ガ市内ニ移ランガ爲ニ、他ノ地面ニ移ラナケレバナラヌト云フ時ニ、其處ニ店舗ニ適當ナ地ガナイ爲ニ、他ノ町村ニ移ラナケレバナラヌ、其場合損害ヲ生ズルト云フコトニナッテ來ルノデアアル、此換地處分ニハ起リマスマイガ、必ズシモ帝都復興ハ換地處分ノミニ依ッテ出來ナイト思ヒマス、公園運河ノ如キ、其土地ヲ收用シテ、ソレトドウシテモ換地處分ニシナケレバナラス、澤山ハナイカモ知レマセヌガ、少シハ必ズアルト思フ、若シ起ッタナラドウ爲サルト云フコトニナッテ來ル、起ッタ場合ハ矢張從來通り——近來漸ク見當ガ付イテ來タノデアアル、是ハ前土木局長堀田貢君ノ言明ニ依ッテ大キニ安心ヲシタ、收用法ノ解釋ガ正鵠ヲ得タト云フノデ吾々ハ喜ンデ居ルノデアリマス、今日ハ餘リ内務省ハ好イ成績ヲ表ハシテ居

リマセヌ、ドウゾ御考ヘナスシテ、間違ナケレバ質問ヲスル必要ハナイノデアリマス、尙ホ此際ニ於テ一應私カラ申上ダテ、今後收用ノ場合ニハ迷惑セヌヤウニ致シテ戴ケバ、異存ハナイノデアリマス

○池田政府委員 洵ニ御尤ナ御尋ト考ヘマス、土地收用ニ依リマスルモノハ、土地收用ノ例ニ依リタルコトハ先達モ高木サンノ御質問ニ對シテ御答ヲシタ通りデアリマス、其點ニ於テモ毛頭違、タ考フ有ッテ居ル譯デハナイノデアリマス、唯、此場合ニ區劃整理ニ依リマスルモノニ付キマシテハ、段段ニ申上ダマスヤウナ換地處分ノ設計ニ依リマ스가故ニ、或ハ極端ナ場合ヲ想像シマスレバ、數日ノ休業ヲ要スルト云フヤウナ事ガ起ラストモ申難イノデアリマス、ソレ等ハ忍ンデ貫シテ進ンデ行キタイト云フ考デ居リマスカラ、其點ヲ申上ダタノデアリマス、執行上ニ付キマシテハ十分注意ヲ致シマス

○高橋委員長 次ニハ多木サンガ居リマセヌカラ作問君

○作問委員 私ハ建築條例ニ付テ、將來ノ建築物ノ中防火區域内ニ於ケル防火建築物ニ付テハ、政府ハ一定ノ標準ヲ定メテ其助成金ヲ與ヘルト云フコトハ、豫算ノ上ニ現ハレテ居リマスガ、防火區域以外ノ一般建築物ト雖モ、此際帝都ノ復興ヲ促進セシメマスル爲ニハ、之ニ適當ナル補助ヲ與フルガ爲ニ、出來得ル事ナレバ、低利資金等ヲ融通ヲシテ、長期ニ亙ッテ其回收ヲ計シテ、サウシテ一般建築ノ速ニ完成ヲ期スルト云フヤウナ方法ヲ執ル思召

ガアリマスルヤ否ヤ、豫算ヲ拜見致シマシテモ、其點迄ハ現ハレテ居ナイヤウデアリマスルガ、若シサウ云フ御方針ト致シマスレバ、如何ナル標準ニ依ッテ其御意見ガ具體的ニ現ハレテ居ルコトデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○池田政府委員 只今御質問ニ相成リマシタ事ハ、第一回ノ委員會ノ時ニ大藏大臣ヨリモ亦私ヨリモ申上ダタ事デアリマスガ、重ネテ申上ダルコトモ甚ダ恐縮デアルト考ヘテ居リマスガ、唯、ソレ等ノ事ニ付キマシテハ、目下政府ニ於キマシテハ考慮中デアルト、斯様ニ御承知ヲ願ヒタイ

○作問委員 次ニ復興資金ノ融通ノ問題デアリマスルガ、此復興資金ノ融通ノ問題ニ付キマシテハ、政府ハ一定ノ金額ヲ東京府ノ特殊銀行ヲ通ジテ復興資金ノ融通ニ充テラレテ居ルト云フ方針ヲ採ンテ居ラル、ヤウデアリマスガ、實際ニ於テ承ル所ニ依レバ、例ヘバ不動産ヲ抵當ニ融通ヲスルヤウナ場合ニモ、ソレ等ノ銀行ニ於テハ、建物ダケハ擔保ノ目的ニシナイ、土地ト併セテ建物ヲ取ル場合ニ於テ、始メテ融通ヲスルト云フヤウナ方針ヲ採ンテ居ルト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ銀行——殊ニ是等ノ特殊銀行ニ融通ヲ爲シ得ルト云フヤウナモノハ、罹災民ノ中デモ最も其上層ノ階級ニ屬スルモノデアリマシテ、中流以下ノ最も多數ヲ占メル小商業家小工業家其他ノ都民ニ取リマシテハ、今少シ此復興資金ノ融通ヲ便利ニ、且ツ廣キ範圍ニ行渡ル方法ニ於テ取扱、テ貴ハナケレバ、折角ノ復興資金ガ多クノ效用ヲ發揮スルコトガ出來ナイノデアリマス、御承知ノ通りニ今回

ノ復興ニ付キマシテハ、中流以下ノ小商業家ニ於テ、甚ダ復興ノ原素トナルモノデアリマス、單ニ地所ヲ有シ、或ハ地所内ニ大キナ建物ヲ有テ居ルト云フヤウナ者バカリノカデハ、逆モ復興ヲ早ク且ツ全カラシムルコトハ出來ナイノデアリマス、此多數ノ只今申シマスルヤウナ中流以下ノ商業家ニ對シマスル特殊銀行ノ復興資金ノ融通ノ方法ニ付テ、政府ハ何等カ考慮セラレテ居ル所デアリマスルカ、アレバソレニ基イテ此特殊銀行等ニ對シテ、何等カノ條件或ハ命令ヲ下サレル思召ガアルカ否ヤヲ承リタイノデアリマス

○池田政府委員 只今ノ點ニ付キマシテハ、本會議ナリ豫算委員會トデ、大藏大臣ヨリ御説明ヲ申上ダタ通り、ソレ以外ノ事ハ無イト御承知ヲ願ヒタイ

○作問委員 豫算委員會デハ、私共ハ承ル機會ガアリマセヌカラ、モウ一度御説明ヲ願ヒタイ

○高橋委員長 作問君ニ御注意申上ダマスガ、只今大藏省ノ政府委員ハ出席ガアリマセヌ、暫ラク御待チ下サイ、呼びニヤリマスカラ

○作問委員 ソレデハ其點ハ留保シテ、モウ二點ダケ伺ヒマス、家屋ノ建築ニ就キマシテ、隣同志即チ相隣者間ノ關係デアリマス、是ハ民法ノ原則ニ依リマスレバ、境界カラ各、一尺五寸宛ヲ隔ッテ置カナケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、之ニ異リタル慣習アル場合ニ於テハ、其慣習ニ從フト云フノデ、東京市邊リニハ、固ヨリソレニ異リタル慣習アルモノトシテ、從來間隔ヲ多クハ存シテ居ラナカタノデアリマス、即チ建物ト建物ノ距離ハ

全ク存セズシテ、相隣密著ヲ致シテ居ルタノデアリマスガ、此關係ハ交通ノ上カラム、又防疫ノ上カラム、火災ノ場合ニ於キマシテモ、保安上考ヘナケレバナラヌ事柄デアリマス、市街地建築物法ニ依リマシテモ、單ニ一割乃至三割ノ空地ヲ數地内ニ存シテ置ケト云フ規定ハアリマスガ、其空地ハ莫デアラウガ、中程デアラウガ、何處デモ宜シイト云フコトニナツテ居リマス、而巳ナラズ建築物法ノ規定ハ、多クハ路面トノ關係、若クハ建物自體ノ關係デアリマシテ、相隣間ノ關係即チ接續面ノ關係ハ干涉シナイ趣旨ト考ヘラレルノデアリマス、政府ハ今回ノ復興ノ建築ニ當リマシテモ、矢張從來ノ建物制限ノ法規ニ依リマシテ、單ニ路面トノ關係、或ハ建物内部ノ關係、即チ建物ノ前面、裏面、内面、是等ノ事ニハ相當ノ取締ヲ致シマセウケレドモ、建物ノ側面ノ關係ニ就テハ、何等顧ミナイノデアリマスガ、建築者ノ任意ニ委シテ置ケト云フ御考デアリマセウカ、其方針ヲ此際承ツテ置キタイと思ヒマス

◎池田政府委員 今回ノ計畫ハ度々申上ゲマス通り、土地區劃整理ヲ實行致シマスノデ、適當ナ「バラック」ガ出來ルノデアリマス、何レノ建築物デモ皆道路ニ面スルコトニナルノデアリマス、而シテ其建築物ハ何レモ適當ナ形ノ「バラック」ニ依リテ繋ガルコトニナルノデアリマスノデ、今迄ニ見ル如キコトハ無クナル譯デアリマス、隨テ只今御心配ニナツテ居ルヤウナ事ハ、此區劃整理ノ設計ニ依リテ、大部分ハ消失スルコト、存ジマス、唯、併ナガラ建築物法ガ相隣者間ノ事ニ就テ、何等ノ用意ヲ

拂ツテ居ラヌカノ如キ御話モアリマスガ、此點ニ就テハ市街地建築物法ニ於テモ相當用意シテアリマス、即チ第十三條ニ防火地區内ノ建物ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ、土地ノ境界線ニ接シテ設ケルコトヲ得ルト云フ、民法ノ例外規定ヲ置イテ居ルヤウナ次第デアリマス

○作問委員 此復興計畫ニ依リマス、街路、公園或ハ運河等ノ路線位置ノ發表ニ當リマシテハ、從來ハ其關係者ノ情實運動等ヲ恐レマシテ、成ベク秘密主義ニ依リテ、愈、其事業ヲ實行スル迄ハ、一切關係者ニ公達シナイト云フ取計ヒニナツテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ其關係者ハ非常ニ不用意ノ間ニ收用又ハ移轉等ノ處分ヲ受ケナケレバナラヌノデアリマス、換地處分ニ依ル場合ハ姑ク別ト致シマシテ、收用移轉ニ依ル場合ハ、出來ル限り明カニ且ツ確カニ其關係者ニ告知スル方法ヲ執ラレ、サウシテ之ガ爲ニ要スル準備ト決心トヲ爲サシメテ置クガ、然ルベキカト思料致シマス、今迄ノヤウナ情實運動ハ起ラヌカト思ヒマスシ、而巳ナラズ復興審議會ニ於テモ、復興ノ計畫ハ其性質上秘密ヲ保ツベキモノデナイカラ、爾來ハ審議會ニ秘密ニシナイト云フ話モアツタト云フコトヲ承ツテ居リマス、成程今回ハ大約ノ路線ノ位置ハ、既ニ公表セラレタ部分モアルノデゴザイマスガ、其東側ヲ取ルカ西側ヲ取ルカト云フ事ハ、市民ノ努メテ早ク知ラント欲スル點デアリマスカラ、ソレ等ニ對シマシテハ、成ベク希望ニ副フヤウナ處置ヲ採ラレテハ如何カト思料致スノデアリマス、此點ニ對スル政府ノ方針ヲ承ツテ置キタイ

○池田政府委員 御質問ノ御趣旨ニ於キマシテハ、至極同感デアリマス、唯、此法案ニ依リマスレバ、都市計畫法ニ其點ハ據ル譯デアリマス、都市計畫委員會ナルモノガ、計畫事業ノ具體的ノ決定ヲ致スコトニナツテ居リマスカラ、其委員會ノ最後ノ決議ガアル迄ハ、其設計ガ確定シナイト云フコトニナリマス、確定セザル設計ヲ市スコトハ、害アルテ益ナキ事ト考ヘマスカラ、此點ニ於キマシテハ、從來ノ方針ヲ改メルコトハ出來ナイト考ヘマス、併シ區劃整理ニ依リテヤリマスモノハ、成ベク早く其設計ヲ知ラセルヤウニシタイト思ヒマス、ソレハ區劃整理ニ依リマスモノハ、概ネ街路ノ兩側共ニ掛ケルト云フ考デゴザイマスカラ、此方ハ自ら早ク用意ガ出來ルダラウト考ヘテ居リマス

○添田委員 私ハ極ク簡單ニ一言御尋シタイ、ソレハ先刻ノ八田君ノ御質問ニ關聯シテ居ル、八田君ノ質問ノ單價ヲ二百圓ト見積タト云フコトニ對シテ 池田政府委員ヨリ其見積ノ根據ニ就テ、詳細ヲ御説明ガアリマシタ、其點ハ能ク了解シマシタガ、併ナガラ要スルニ色々ノ事情ヲ御調査ニナツタ上、根據ガ出來テ居ルモノニハ相違アリマスマイガ、要スルニ是ハ一ノ見込デアリマス、二百圓ト見積ラレタ豫算ガ、宜イトカ惡イトカ云フノデアアリマセヌガ、此豫算ヲ愈、御施行ニナル場合ニ於テ、果シテ是ガウマク出來得ルカ、出來得ナイカ、無論政府ニ於テハ、此範圍デ出來ルト御考ニナツテ居ルノデアリマセウ、併ナガラ今後五年モ六年モ掛ツテヤル此事業デアリマスカラ、此計畫通りノ事柄ガ、豫算ノ範圍デ執行出來ナイト云フ場合ニ於

キマシテハ、政府ハ其不足額ニ對シテハ、或ハ追加豫算ヲ以テ議會ニ要求スルコト云フ御考デアアルカ、或ハ五億何千萬圓ノ豫算ノ範圍ニ於テ、已ムヲ得ザレバ從來計畫シテ居ル工事ヲ縮小シ若クハ變更シテモ、此豫算ハ動サズニ此範圍デアアルコト云フ御考デアアルカ、私ハ此問題ニ付キマシテハ、先刻内務大臣ニ御伺ヒ致シタイト思フタノデアリマスケレドモ、御留守デアリマスノデ、政府委員ニ御伺ヒ致シタイ

○池田政府委員 洵ニ御尤ノ御質問ト存ジマス、政府ト致シマシテハ、豫算ノ御議定ノ趣旨ニ依リマシテ適當ナル計畫ガ、此法案通過ノ曉ニ於キマシテ、權限アル機關ニ依テ決定セラレ、而シテ御議定ニ相成リマシタ豫算ノ範圍ニ於テ、極力是ガ遂行ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、今日ノ場合ニ於キマシテハ、是以上申上ゲルコトハ出來ナイト御承知ヲ願ヒマス

○添田委員 只今ノ御答辯ハ尋常一様ノ御答辯デ、サウ云フモノカモ知レマセヌ、併シ此委員會デハ、胸襟ヲ披イテ忌憚ナク御尋フスル、又其意味ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデス、吾々ハ之ヲ議スル上ニ於テ、將來多クノ追加豫算ヲ出ルモノト了解シテ議スルカ、或ハ政府ハ今回ノ五億何千萬圓ノ金ニシテモ、非常ニ財政上ニ困難ヲ感ジテ居ラレルノデアリマスガ、此範圍デ徹頭徹尾ヤラウト云フノデアアルカ、ソレ位ノ何カ御決心ガアリサウナモノト思ハレルノデアリマス、今ハ是ダケ出シタラ適當デアラウト云フヤウナ答辯ナラ、聴キタクナイ、何カソレニ付テノ御考ガアリサウナ

モノデアアル、御述ニナルコトガ出來ナケレバ宜シウゴザイマスガ、伺ヘルコトナラ伺ヒタイ

○池田政府委員 段々ニ御話申上ダマシタ如キ根據デ、豫算ノ見積ヲ致シテ居リマス、太過ハナイ積リニ考ヘテ居リマス、即チ此豫算ヲ以テマシテ、計畫致シテ居リマスル仕事ハ之ヲ執行シ終ル決心デ居リマス

○高橋委員長 松本銀行局長、先刻作間耕逸君カラ質問ガアリマシタガ、大藏當局ニ關係スル事デアリマスカラ、大藏當局ニ伺ヒマス

○松本政府委員 御質問ノ御趣旨ハ、大體政府カラ應急ノ建築費ト致シマシテ、勸業銀行又ハ興業銀行ヘ出シマシタ資金ヲ、是等ノ銀行ガ貸出ス場合ニ、土地建物兩方ノ擔保ガアル場合ニノミ貸シテ、建物ノミノ擔保ノアル場合ニハ貸出サナイノデアアルコト云フ御質問デアッタヤウニ聽イテ居リマスガ、是ハ建物ノミト云フノモ、勸業銀行ヲシテ貸サシムル方針デ居リマス、併シナガラ兎ニ角實際ハ勸業銀行ニ於キマシテ、其建物ノ擔保力ヲ見マシテモ、貸出ル場合ガ多イヤウニ聞イテ居リマスルカラ、政府ニ於テモ十分督勵ヲシテヤッテ行キタイト思フテ居ルノデアリマス、尙ホ之ニ付キマシテ、將來特ニ何カ考慮スル所ガアルコト云フ御尋モアッタヤウデスガ、是ハ政府ニ於キマシテ、今後假建築ノミナラズ本建築ノ場合ニ於キマシテモ、資金ニ於テモ、又其擔保力トシテノ貸出ノ點ニ付キマシテモ、十分ニ其機能ヲ發揮スルコトガ出來ルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、次ニ中流以下ニ對シテモウ少シ出スヤウニシタラドウカト云

フコトデアリマスガ、勸業銀行ノ方ニ貸シマシタノハ、大體五方圓カラ十方圓位以下ノモノニ貸セ、サウシテ多クモ十方圓ノ程度ニシテ、成ベク小サイ建築、細民ノ要スル住宅ニ供給スルヤウニト云フ命令ヲ發シテ居リマス、政府ハ是ガ爲ニ特ニ二人ノ高等官ヲ派遣致シマシテ、其貸出ノ申込額其他ヲ調ベサシテ監督致シテ居リマス、又農工銀行ニ對シマシテハ、大體標準ヲ千圓位ニシロト云フ命令ヲ發シテ居リマス、之ニ對シマシテモ十分ナル監督ヲ致ス積デ居リマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、十分ニ監督ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○多木委員 私ハ本問題ノ根本ノ基礎ニ付テ伺ヒタイ、今回ノ震災ハ實ニ振古未會有デアリマシテ、殆ド世界ニモ類例ノ無イ位ノ大震災カモ分ラヌ、隨テ其復興モ世界ニ例ノ無イ空前ノ大設計カト存ジマス、新規ニ造リ直スト云フ點ニ於キマシテ、世界ニ殆ド其比ヲ見ナイ重大問題カモ分リマセヌ、而シテ政府ハ罹災者ノ救済ト云フ、又都市ノ經營ト云ヒ、設計ニ測量ニ最新式ノモノガ色々ゴザイマス、帝都ノ回復及復興ニ付テ非常ニ御盡力デアリマス、吾々ハ之ニ異議アル譯デアリマセヌ、洵ニ政府ガ計畫上御配意御盡力ノコトハ唯々感謝ニ堪ヘマセヌ、此設計ニ付テモ決シテ異議ハアリマセヌ、ドウカ願ハクハ我が帝都ハ更ニ進ンデ組織ヨリモ、伯林ヨリモ、巴里ヨリモ、新設計ヲ加ヘラレルヤウニ十分ニ御努力ヲ願ヒタイ、殊ニ間キマスルト、市區ノ改正ノミナラズ、或ハ地下線、或ハ港灣ノ新設、或ハ運河ヲ拵ヘ、鐵道ヲ拵ヘ、大公園ヲ

作り、防火ニ、耐震ニ、實ニ非常ナル御設計デア
ト云フコトハ、洵ニ感服ニ堪ヘナイノデアリマス、
併ナガラ我國ノ國力ガ之ニ堪ユルヤ否ヤト云フコ
トニ付テハ、本員ハ甚ダ心配致シテ居リマス、既ニ
責任支出ト致シマシテモ一億六千万圓アル、或ハ
手形ノ割引ニ付テモ、一億圓ヲ御心配セラル、ト
ノコトデアル、是モ國庫ニ還ヘルカ否ヤト云フコ
トガ分ラナイヤウナモノガ多數アリマス、更ニ進
ンデ吾々ノ了解ニ苦シムノハ、一億八千万圓ノ保
險金ヲ幾ラカオヤリニナル、又六億ニ近イ復興豫
算モ出來テ居リマス、而已ナラズ段々議シマシタ
ナラバ、電信ナリ、電話ナリ、色々早クシナケレバ
ナラヌモノヲ總計致シマシタナラバ、二十何億ト
云フ大資金ヲ要スルノデアリマス、日本ハ世界ノ
三大強國デアリマスガ、近來四方八行詰テ、而
モ貿易ハ逆調デアッテ、本年ノ如キハ、復興材料ノ
到着セザルニ拘ラズ、五六億ノ輸入超過ガ既ニア
ルノデアリマス、二十五六億ノ大金ガアルト云ッテ
誇ッテ居タ日本ハ、五六億ノ輸入超過トナリ、今ヤ
寒心セザルヲ得ヌコト、ナリマシタ、又此貿易ノ
均衡ハ何時回復スルカ、吾々ハ此點ニ付テモ心配
シテ居リマスガ、又政府モ御心配デアラウト思ヒ
マス、而シテ我國ハ土地狹ク、人口多クシテ、食
物サヘモ足りナイ有様デアル、殊ニ四十三億ト云
フ大ナル國債ハ、利子ノ支拂サヘモ年々二億七八
千、殆ド二億ヲ要スルノデアリマス、更ニ之ニ二十
何億ト云フ大ナル國債ヲ加ヘルト致シマスレバ、
殆ド七十億ニ近イノデアリマシテ、而モ貿易モ國
際間ノ決濟ニ於テ常ニ逆調ニ在ルノデアリマス、

而シテ今ヤ帝國ノ中心タリ根幹タル帝都ガ斯ル有
様デアリマス、且ツ我國ニハ天產物ガ尠ク、運河ヲ
作ルニ鐵一塊モ無ク、軍艦ヲ拵ヘテモ、石油ガ無イ
爲ニ動カスコトガ出來ナイ、農村ハ既ニ疲弊致シ
マシテ、四十六議會ノ如キハ之ガ救済復興ノ爲ニ
議會ノ大問題トナツタ狀態デアリマス、其他山ニ木
ガアルノデモアリマセヌ、國力ヲ養フ海產物ヲ持
テ居ルノデモアリマセヌ、今日デスラ不足勝ナル
食糧ハ、三十年ヲ出デズシテ何千万ノ食糧ガ足りナ
クナルト云フコトハ、既住ヲ推シテ將來ヲ考ヘル
コトガ出來ルノデアリマス、立派ナル帝都ノ出來
ルコトハ結構デアリマスガ、如何ニシテ此財源ヲ
支出スルカ、内債ヲ募ルコトハ困難デアリマス、サ
レバ外債ヲ募ラナケレバナラヌ次第デアル、併シ
古今東西ヲ考ヘマスルト、外國ノ力ニ依テ帝都ヲ
復興シタト云フコトハ、歴史始メテ以來無イカモ分
ラヌ、且ツ政府ハ此莫大ナル國債ヲ如何ニシテ償
還セラレマスカ、此際行政整理ヲ爲スト共ニ、非常
ノ時ニハ非常ノ英斷ヲ以テ軍備ノ大縮少ヲシナケ
レバ、或ハ都市ノ經營ニ充ツル財源ガ無イカト思
ハレル、國力ガ堪ヘナイデアラウト憂慮スルノデ
アリマス、若シ政府ニ此大英斷ヲ下スコトガ出來
ナケレバ、將來公債ノ利息タケデモ、四億圓カ五億
デアル、元利ヲ合計スレバ遂ニ百億圓ニナルノデ
アル、國家ハ此公債政策ノ爲ニ、遺憾ナガラ破産セ
ザルヲ得ザルヤウナ狀態ニナル、是ハ非常ニ心配
ナ事デアル、次ニ東京ヲ興スコトハ結構デアリマ
スガ、東京ヲ興ス爲ニハ、片輪ノ病氣ヲ直ス爲ニ、
全身ガ大患ニナリハセヌカ、後藤子爵ノ御話ヲ聽

キマス、帝都ガ復興スレバ國ガ賑フト云フ、如何
ニモ外債マデ持テ來テ東京ヲ興スコト云フナラバ、
財貨各地方ニ分配宜シキヲ得タナラバ、一時ハ花
モ咲キマセウガ、其結果ガ何時迄續クカ、本ヲ直サ
ズシテ末ノ一時的繁昌ヲサセル帝國ハ、萬々歲迄
無限ニ續カナケレバナラヌ、一時的ノ繁昌、一時的
ノ健康ヲ保ッテ、將來ノ運命ヲ短クスル様デハ、國
家ノ急ヲ救フベキ政策デナカラウト思ヒマス、兎
ニ角政府ハ公債整理、此資金ノ償却ニ付テ、如何ナ
ル方法、如何ナル政策ヲ御有チニナッテ居ルノカ、
之ヲ承リタイノデアリマス

○高橋委員長 帝都復興計畫法案ニ付テノ質問
ハ、大體是ニテ終了致シマス、尙明日ハ休ミマシ
テ、明後日午前十時ヨリ開ク積リデアリマス、萬已
ムヲ得ザル質問ハ其時ニ簡單ニ許シマス、ソレヨ
リ討論ニ入りマス、明後日午前十時ヨリ開キマス、
明日ハ一日休ミマス、併シ政府ヨリ緊急ヲ要求デ
モアリマスレバ、公報ヲ以テ明日特ニ開クコトガ
アルカモ知レマセヌ、其時ハ特別ニ御通知致シマ
ス、ソレデ帝都復興計畫ノ方ハサウ云フ風ニ致シ
マシテ、ソレカラ只今ノ多木君ノ御質問ハ、是ハ吾
吾ノ此委員會ニ付託ニナッテ居リマスル所ノ震災
善後公債法案、此處デ御質問ニナツタモノト了解致
シテ宜シウゴザイマスカ——サスレバ只今大藏大
臣ノ御答辯ガアリマス、——此震災善後公債法案
ニ付テ、御質問ハ別ニアリマセヌカ——アリマセ
ヌケレバ、只今ノ多木君ノ御質問ニ對シテ、大藏大
臣ヨリ御答辯ガアリマス

○井上國務大臣 多木サンノ御問ニ對シテ御答致

シマス、復興計畫ニ要スル資金ハ、公債ニ依ルノデアルガ、其公債が果シテ日本ノ財力相當デアルヤ否ヤト云フ御問ノヤウデアリマシタガ、先日モ本會議ニ於テ申上デマシタヤウニ、十五億ノ公債計畫ヲ立テマシテ、其十五億ノ公債ノ利拂ヲシ、乃至ハソレノ減債基金トシテ積立テルダケノ財政計畫ヲ立テ、居リマシテ、即チ歳入カラ歳出ヲ引キマシテ、其餘格ガ丁度ソレニ相當スルヤウニ出來テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ今日ノ財政狀態ニ於テ、又過日ヨリ度々繰返シテ申上ダタル如ク、行政財政ノ整理ヲスル考デアリマスガ、時不足ノ爲ニ出來ナカッタト云フ現狀ノ下ニ於テハ、財政上差支ナイ方法デアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ行政財政ノ整理ハ、十三年度ノ豫算ガ決マリマシテ後ニ、根本的ニ試ミテ見ル積リデアリマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○多木委員 一寸伺ヒマスガ、今大藏大臣ノ此問題ヲ解決セント云フ場合ニ、明年度ノ豫算ノ決ヲ待テ計畫スルト云フコトデ、只今ニ於テハ政府ハ別段ノ御方針ガ無イヤウデアリマス、少クモ相當ノ御抱負御經綸ガアルコトナラバ承リタイト思ヒマス、此問題ニ付キマシテハ、全國誰カ將來ノ公債政策ニ付テ憂慮シナイ者ハ恐ラク無カラウト思ヒマス、此重大ナル問題ニ付キマシテ、臨時議會ヲ開ク位ノ大切ナル時ニ當リテ、豫算ノ決ヲ待テ計畫スルト云フヤウナ話ノアリマスコトハ、本問題ヲ解決スルニ於テ甚ダ遺憾デアルト思フ、ドウカ今少シ詳細ナル具體的ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○井上國務大臣 私ノ答辯ガ不十分ノ爲ニ誤解ヲ招キマシテ、甚ダ恐縮致シマスガ、十三年度ノ豫算ハ御承知ノ如ク既に大體出來上ッテ居リマスノデアリマス、其出來上ッテ居ル豫算ノ中デ、十五億ノ公債ノ利拂乃至ハ減債基金ノ繰入ノ出來ルヤウニチャント出來テ居ルノデアリマスカラ、十三年度豫算ガ議會ヲ通過致シマスレバ、十五億ニ對スル利拂乃至ハ豫定ノ減債基金ト云フモノハ、間違ナク十數年度ニ亙ッテ用意ガシテアルト云フコトニ御承知ヲ願ッテ置キタウゴザイマス

○伊坂委員 極メテ簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス、昨日大藏大臣御出席當時ノ御辯明ニ依リマシテ、燒跡復興ノ土地ニ對スル用地ノ補償額ニ付テハ、二億三千万圓程ノ豫算ガ計上サレテアルト云フヤウナ御辯明デアリマシタ、吾々モ左様ニ存ジマス、其補償額ハ公債ニ依ルモノガ七千六百萬圓デアリマスルガ、其他ハ現金デ交付シタイ、公債ニ依ルト云フコトハ、通貨ノ膨脹ヲ防ギ、物價ノ變動ヲ少クセントスル所以デアルト云フ御説明デアリマシタガ、此公債ヲ二億三千万圓中僅ニ七千六百萬圓ヲ交付スルコトガ、物價ノ調節或ハ金融ノ壓迫等ヲ防グト云フヤウナコトハ、少シ受取リ兼ねル様デアリマス、之ニ付テ尙ホ一應承リマスレバ結構デアリマス

○井上國務大臣 御尤デアリマスガ、此所デ七千六百萬圓ダケノ現金ヲ出スコトヲ節約スルト言ヘバ、如何ニモ不徹底ノ様デアリマスガ、有ユル手段ヲ用ヒテサウシテ惡イ結果ヲ防ギタイト思ヒマシテ、或ハ郵便貯金ノ改正、若クハ少額貯蓄債券

等——富籤ト申シマスガ、割増附ノ少額債券等ヲ發行スル計畫モ持ッテ居リマス、有ユル手段ヲ講ジテ弊害ヲ防ギタイト思ッテ居リマシテ、此處ニモ尙ホ多クノ金額ヲ計上スルコトノ希望ハアリマスケレドモ、亦補償ヲ受取ル人ノ身カラ考ヘマスト、餘リ無理ノ出來ナイ事ト考ヘマシテ、斯ウ云フ豫算ヲ立テ、居リマス、サウ御承知ヲ願ヒマス

○高橋委員長 一寸諸君ニ申上デテ置キマス、只今震災善後公債法案、復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フベキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案、此ニツニ付テノ質問ヲ開始シテ居ルコトト御承知ヲ願ヒクイ、而シテ先刻ノ多木君ノ御質問ハ、此公債法案ニ最モ適當ナル質問デアッタノデアリマス、又伊坂君ノ御質問ハ、次ノ復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フベキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案、之ニ關スル質問ト認メテ宜シウゴザイマスガ

○伊坂委員 宜シウゴザイマス

○高橋委員長 ドウカ二案ニ付テ御質問ガアレバ御質問ヲ願ヒマス

○添田委員 先程ノ質問ニ關聯シテ、大藏大臣ガ見エマシタカラ、全體ノ復興豫算ニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマスガ、今議題ニナッテ居ルモノニハ、少シ離レテ居ルヤウニ思ヒマスガ、宜シウゴザイマスガ

○高橋委員長 關聯シテ居レバ宜シウゴザイマス
○添田委員 大藏大臣御出席前デアリマシタガ、復興豫算ノ問題ニ付テ政府委員ニ御尋シタノデアリマス、ソレハ復興豫算ノ街路其他ノモノヲ得ル

積リニナシテ居ル豫算ノ根據ニ付テ、既ニ政府委員
カラ説明ガアツタノデアリマス、其根據ノアツタ事
ハ、私共諒解シタノデアリマスガ、要スルニツレ等
ハ一ツノ政府ノ見込ニ過ギナシト思ヒマス、隨テ
此豫算ヲ實行サレルト云フ場合ニ於テ、豫算ノ範
圍内デ此ニ計畫シタマケノ事業ガ完全ニ出來レバ
宜イガ、或ハ出來得ナイ場合モアルカモ分ラナイ、
其場合ニハ政府ハ所謂已ムヲ得ナイ費用トシテ、
更ニ追加豫算ヲ御提出ニナツテモ、此計畫ハ變ヘナ
イ御考デアアルノカ、或ハ五億九千万圓ノ豫算ノ範
圍内デ總テ賄フト云フコトデ、其場合ニ於テハ設
計其他ノモノニ變更ヲ加ヘルカ、或ハ縮小スルカ、
或ハ道路ノ中デモ、或ル一部分ハ打切ラズシテモ、
此豫算ノ範圍デヤラウト云フヤウナ肚ヲ御持チニ
ナツテ居ルノカ、今之ヲ政府トシテハ御言明ナサル
ノハ御苦シイカト思ヒマスガ、過日來各方面ノ質
問ノ狀況ヲ伺ヒ見マスルノニ、孰レモ帝都ノ復興
ト云フコトニ莫大ノ金ヲ使フ、而モ其財源ノ上ニ
於テモ、大藏大臣ハ非常ニ御苦心ニナツテ居ル、又
地方ノ色ミナ事業ガ打切ラレテ、農村ノ振興ノ問
題 其他産業ノ關係ナシガ打切ラレルト云フコト
ヲ、一般ニハ非常ニ不安ニ思フテ居リマス、此復興
計畫ニ付テ、ドレダケ私ノ御尋シタ點ニ付テ肚ヲ
決メテ居ルカト云フ點ヲ伺フコトハ、復興計畫法
ヲ議スル上ニ於テ、最も參考ニナル事デアラウト
思ヒマスガ、御差支ナイ程度ニ於テ一般ヲシテ安
心セシメルヤウニ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○井上國務大臣 只今ノ添田君ノ御問ニ對シテ御
答致シマスガ、實ハ只今御答ヲ致シマシタ如ク、一

般會計ノ歲入ノ餘格トシテハ、十五億ノ公債ヲ募
集スルヨリ以上ニ、今日ノ所デハ餘格ハアリマセ
ヌノデアリマス、隨テ日本ノ財政ノ今日ノ狀態ト
シテハ、十五億圓以上ノ公債ヲ募集シテ仕事ヲシ
ヤウト云フコトハ、絶對的ニ不可能ト私ハ考ヘテ
居リマス、隨テ斯ノ如ク餘格ノ無イコトデハ、甚ダ
憂フベキ狀態ト思ヒマシテ、行政財政ノ整理ヲ根
本的ニヤツテ見タイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリ
マスガ、少クモ今日ニ於テハ十五億以上ノ公債ヲ
募ル一般會計カラノ餘格ハ無イノデアリマス、而
シテ只今臨時議會ニ提出シテ居ルモノガ七億八千
萬圓ノ總額ニナリマスガ、尙殘リ七億二千萬圓ア
リマス、ソレヲ震災地ノ公共團體ノ財政上ノ援助
トカ、或ハ各省ノ復興豫算トカ云フモノヲ賄ヒタ
イト考ヘテ居ルノデアリマス、又賄フヨリ外ニ仕
方ガナイノデアリマスガ、隨テ只今ノ御問ニ對シ
テハ復興豫算ヲ茲ニ提出致シマシタ以上ハ當局者
トシテハ當然是デ遂行ガ出來ルト云フ確信ヲ持
テ居リマス、ソレト同時ニ只今ノヤウナ狀態デア
リマスカラ、他日財政狀態ガ非常ニ變化シタラバ、
餘格ハ出來マセウガ、今日ノ所デハ此豫算デ遂行
出來ルト思フテ、當然當局者モ亦其考デ居リマスノ
デ、其以外ニ豫算ガ超過スルトカト云フコトハ考
ヘテ居リマセヌ、一般財政狀態カラ割出シ、又復興
豫算ニ付テサウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○八田委員 私ハ震災善後公債法案ニ關シテ伺
タイト思ヒマス、目下地方ニ於テ最も困リツ、ア
ル問題ニ付テ、農商務大臣ニ御尋シテ見タイト思
ヒマシタガ、本法ト關係ヲ有スル米穀法ヲ引用シ
テ、茲ニ大正十二年九月一日勅令四百七號ヲ以テ、
米穀輸入稅免除ノ件ヲ發布シ、次デ生牛肉及鳥卵
輸入稅免除ノ件ガ發布サレタガ、地方デ困リツ、
アル狀況ニ付テ、農商務大臣ハ如何ナル考ヲ有シ
テ之ニ處セントスルカ、三月三十一日迄復舊ガ出來
ナイトシテ之ヲ固執スルカ、今ノ農村ノ狀態カラ
見ルト、ドウシテモ速ニ撤廢シ、半額ニナレバ大農
中農ト云フ位ノ所ハ宜イガ、目下一番苦シデ居ル
ノハ、中小農ノ下層界ニ屬スル農民デ、是等ハ目下
焦眉ノ急ニ迫ルテ居ル時ニ、之ヲ撤廢スルコトノ必
要ガアルト思フテ、農商務大臣ノ出席ヲ希望シタノ
デアリマスガ、東北方面デ苦シデ居ルノハ、穀物ノ
輸送機關ガ——貨車ガ不足ノ爲、東京ノ市價ガ非
常ニ高イニ拘ラズ、安ク賣リツ、アル狀態ト云フ
モノハ、目下非常ニ困リテ居ル、之ニ付テ鐵道大臣
ガ如何ナル處置ヲ取リツ、アルカ、是ハ大問題デ
アリマスカラ、農商務大臣鐵道大臣ノ出席ヲ希望
シタ次第デアリマスガ、餘リ時間ガ無イノデ、御出
席ガ無イノハ残念デアリマスガ何等カノ機會ニ於
テ委員長カラ之ヲ確メラレテ、國民一般ニ、政府ガ
如何ナル處置ヲ取リツ、アツテ、地方ニ對スル同情
ハドノ方面ニアルカヲ徹底セシメル必要ガアルト
思ヒマスノデ、何かノ機會ニ於テ其處置ヲ取ラレ
ンコトヲ希望致シマス

○高橋委員長 八田君ニ申上ゲマスガ、是ハ今ノ
豫定デハ、明後日午前十時カラ此會ヲ開ク積リデ
アリマス、其節ニ當局大臣ノ出席ヲ求メテ、貴方ノ
答辯ヲ要求スルコトニシテハドウデゴザイマスガ
○八田委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○高橋委員長 ソレカラ此案ニ付テノ御質問ハ是
デ大體終了ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 然ラバ若シ他ノ都合ニ依シテ、例ヘ
バ政府カラ要求ガアルトカ、種々ナル都合ニ依
テ、此案ノ決定ヲ急グコトガアレバ別デアリマ
ス、然ラザレバ明後日午前十時ヨリ此會ヲ開キマ
シテ、討論ヲ致シテ決定ヲスル積リデアリマス、尙
ホ萬已ムヲ得ザル質問ガアリマスレバ、簡單ニ討
議前ニ許ス積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマ
ス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十一分散會